

株式会社 スペーストピア

〒105-0013  
東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3F  
TEL.03-5404-7801  
FAX.03-5404-7802  
E-Mail:spacetopia@gol.com  
http://www.spacetopia.com



SPACETOPIA INC.

MURASE BLDG.3F,1-20-2 HAMAMATSU-CHO,  
MINATO-KU,TOKYO 105-0013  
TEL.03-5404-7801  
FAX.03-5404-7802  
E-Mail:spacetopia@gol.com  
http://www.spacetopia.com

佐藤様

URLについて、私の分 よろしく お願いします。

① トータルトピアは 1986年10月

② トータルトピアとスペーストピアは 1987年

③ スペーストピアは "クリス"先生は 副社長 佐藤 1998年11月5日

※ アメリカの T.C. Swartz 氏。1986年5月1日 亡く

ほかに 申しあげ ありません。

あとで 電話 します。

若松 立行

☎177-0042

鎌倉区 下石神井 6-11-9

090-2243-6955

03-3995-2372



かつて教壇に立った福野高のベランダで在校生と語る野村玉枝さん(中央)

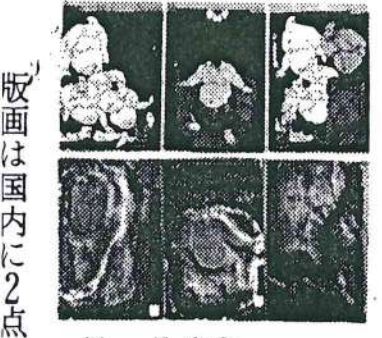
# 民間宇宙旅行に2人契約

## 超豪華ノ1時間100万円

### 青年実業家'93年「GO」

海外渡航者が年間五百五十万人を超え、あきたらない人向けに秘境体験ツアーまで出ているが、東京の旅行代理店が「これぞ究極のツアー」と一九九〇年代に実現する五万円の宇宙旅行を売り出したところ、各方面の関心を集め、このツアー「宇宙への旅」一九九〇年代に実現する五万円というタイトルで売り出され、三年に米国西海岸から打ち上げられる地球を三周(三回り)する宇宙に八十一時間滞在する間、宇宙の大パノラマを写真撮影したり、無重力体験や各

### 裏の版木の版



版画は国内に2点

「大塚山土俵入り」の版画は、これに使われたと思われる版木と、それと異なる版木(一点、灰色)の刷りに使われた可能性が強い。TBSテレビが去年同美術館から借りた北斎の版木

## 夫戦死に涙こらえ 信綱門下へ



夫、前には、何とか自分が、むなく映った。分を奮い立たせ、(演習は永遠(とわ)に終せたいと思っ)りて砲車(ひ)き馬馬声

種々の宇宙実験に参加する。

販売しているのは、東京・渋谷区神宮前の旅行代理店「トラベルトピア」(若松立行社長)で、費用は五万円(約七百五十万円)ほど。ほかにトレーニング代、予約手数料三千二百円、国内代理店とのコミュニケーションフィー五万円(米国までの往復費用は別)があり、「二時間自費」の超豪華旅行になる。

その中で、契約第一号となったのは都内で商品開発会社を営む佐久間正さん(三三)。「仕事柄、自然科学的発想が多いので、宇宙には一度は行きたいと思っていた。想像するのと体験するのでは全くちがう。一種のカルチャーショックがあるだろうし、それを期待したい。高いお金の問題じゃありませんよ」と、佐久間さんは今から胸を躍らせている。

り込むことになっている。

### 松竹専務監禁 主犯に「10年」

映画会社「松竹」の代表取締役専務(四)を監禁したうえ現金五千万円を要求、強盗未遂、覚せい剤取締法違反などの罪に問われた暴力団組長佐藤光男被告(三三)に対し、東京地裁

### 女教師5200万

私営の駐車・駐輪場内でゴルフの素振り練習をしていたゴルフクラブが顔面に当たり、当たり大けを負った東京都

## 娘の夢ひらく奨学金

皆典で基金、比女子医学生に

日航機事故 あすで2年

五百二十人の犠牲者を出した日航ジャンボ機事故から、あすで二年。遺族にとって「8・12」の傷はいやしやまないが、大阪府池田市

医学部に託し、奨学金を送り続けている。娘を失った足長谷さん(三三)を氣遣って、フイリンから次々と届く励ましの手紙。それが、川北さん



# 日経産業新聞

発行所 日本経済新聞社



名古屋本部 (052)937-6111  
東京本部 (03)440-4821  
大阪本部 (06)346-1251

## 鈴木自、日本発

## 車シート

### 競争力 系列取

鈴木自動車工業は独立部品大手の日本発案と共同で部品会社を近く設立、自社の工  
る。鈴木自工はトヨタ自動車などに比べ、系列部品メーカーが弱く、円高下のコスト低  
ため、系列企業との取引を減らしても有力な独立メーカーと手を結ぶ。



鈴木自動車工業社長



清水日本発案社長

### GM戦

両社は共同事業につ  
で合意しており、近  
する。出資比率は鈴木  
〇%を超え、主導権を

## 並列処理スーパー電算

べ配する必要がある、大規模の頂点にマイコンを置きその間のマイコンには毎秒一億八千万マイコンを内蔵したSYS  
な並列処理型コンピュータはを接続するハイパーキューブの情報が送れるバス(総線)が100の販売価格は四億五千万  
DA(食品医薬品局)の認可取

トヨタや日産自動車の系列企業  
に比べ、後発で規模も小さく、  
コスト競争力や新技術開発力に  
限界がある。このため鈴木自工  
は系列企業を育成強化する一  
方、力不足がはつきりした分野  
は独立の有力企業に接近する両  
面作戦をとる。これまでの軽四  
輪や大衆車から高級車へ進出す  
る布石ともみられる。

GM向け車の供給にカナダ  
で合併事業を計画するなど関係  
工と開発の接近はGM戦略の一  
環と見る向きもある。

## オリンパスと提携

### バイオ機器を全国販売

【京都】画像処理機器のベン  
チャー企業、ダックエンジニア  
リング(本社京都府、社長伊藤  
隆夫氏、資本金四億一千九百五  
十万円)はオリンパス光学工業  
の販売会社オリンパス(東京、  
渡辺八太郎氏、二億一千五百万  
円)と販売提携、六月末からバ  
イオテクノロジー(生命工学)  
関連機器をオリンパスの販売ル  
ーで全国販売する。初年度に  
五億円の見込みを挙げている。

販売するバイオ機器は肉や微  
生物の状態を計量的に分析する  
システム「コロニーカウンター」  
と有効な菌を他の培地に移植す  
る「約菌システム」(アイバイオ)  
の二種類。いずれもダックの画  
像処理技術で自動ロボットに組  
み込み、大量処理が必要なバイ  
オ工場や研究所向けに開発し  
た。

コロニーカウンターは対象と  
なる菌の数量、面積、形状など  
のデータを出力する。価格は三  
百万円と五百二十万円の二種  
類。アイバイオはこれまで人手  
に頼ってきた約菌作業を視覚セ  
ンサーで認識して自動化する。  
一回のセットで百五十種の菌の  
移植が可能。価格は五百万円か  
ら千六百万円まで三種類。

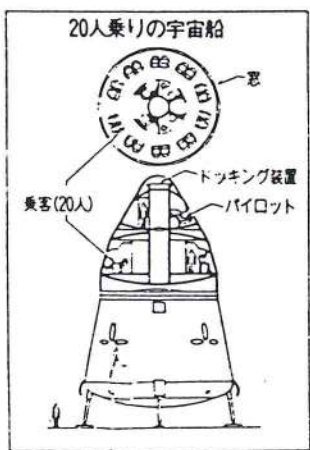
オリンパスはオリンパス光学  
の製品販売を担当する一〇〇%  
子会社。一月間製品の研修を  
行い、大学の研究所や食品、製  
薬会社などへ売り込む。

対応した厳しいコスト低減や、  
車の高級化に伴う新製品開発力  
に不安が出ていた。とあって本  
田系列の東京シートへ全面的に  
頼るわけにもいかないため、独  
立系の日発と提携する。コレッ  
トに対しては鈴木自工が吸収す  
るなどの救済策を検討中。

鈴木自工はコレット工業、宝  
和工業がメンバーの鈴木自協  
同組合(理事長中山金久氏、加  
盟九十七社)を中心に系列部品  
メーカーを抱えている。しかし、

「宇宙旅行はいいがー」  
旅行代理店のトラベルピア  
(本社東京、社長若松立行氏、  
資本金五千万円、03-403-4  
06-1191)は宇宙船で  
地球のまわりを飛行しながら

## 1992年宇宙の旅



20人乗りの宇宙船

ドッキング装置  
パイロット  
乗客(20人)

## 5万2000ドルで現実に

### 米社企画 トラベルピア募集

【本社シアトル市】の企画 外を八十二時間かけて地球  
を五、六周する。船内では宇  
宙の大パノラマを楽しむほ  
か、無重量状態や地球との交  
信などを体験する。参加費用  
は約八十万ドル(約八千六十万  
円)。

【京都】画像処理機器のベン  
チャー企業、ダックエンジニア  
リング(本社京都府、社長伊藤  
隆夫氏、資本金四億一千九百五  
十万円)はオリンパス光学工業  
の販売会社オリンパス(東京、  
渡辺八太郎氏、二億一千五百万  
円)と販売提携、六月末からバ  
イオテクノロジー(生命工学)  
関連機器をオリンパスの販売ル  
ーで全国販売する。初年度に  
五億円の見込みを挙げている。



「今から準備」では遅すぎる!

# 緊急連載

で稼い  
ル、キ  
とい  
めい  
入る



ヘッドハン

## 米実業家は24億円で夢実現



ジェームズ・キ  
ヤメロン監督が  
2人目の宇宙旅  
行者?



人類初の宇宙旅行から米国の実業家は推定24億円と、これまた庶民には夢のような途方もない金額だ。一体いつになったらボクも宇宙に行けるのかなあ。(田中)

2001年予定のペプシの宇宙旅行プレゼントはどうなったの? 「宇宙に行ってみよう」は60歳。これで、宇宙旅行には年齢的な壁がない。初めは大きな進歩だ。初の宇宙旅行者となったデニス・チトーさん

# ぼくら庶民が宇宙に行ける日

いつになったら安くなるのか

チトーさんの宇宙旅行は24億円だが、30年後には100万円!? (ロイター・サン)

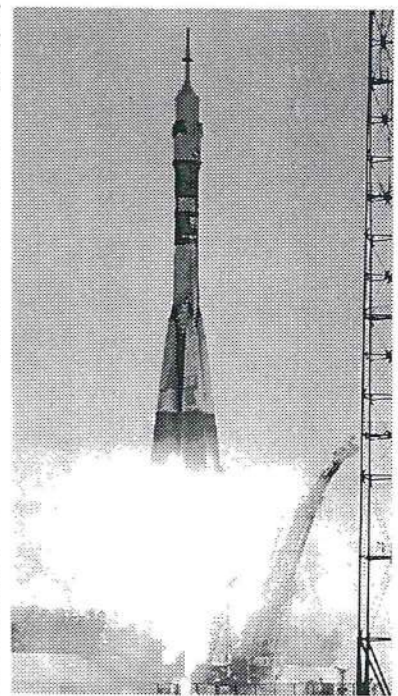
### 宇宙旅行に行くための意外な条件 死んでも訴えられない

「一切の訴訟する権利を放棄します」。事故死はもちろん、無重力で誰かがトイレをしそこなえば排泄物が機内を漂い続ける可能性もある。若松社長は「どんなことがあっても、訴えないという契約ができれば宇宙にはお連れできない」と話す。これは米国の宇宙旅行を自指す旅行代理店も同じ見解だという。それなら保険で、といっても宇宙旅行保険なんて当然ない。よっぽどの覚悟がないと宇宙には行けないようだ。

「ペプシのプレゼントとチトーさんの宇宙旅行ではずいぶん内容が違います。スペース・トラベラーズの計画が実現すれば、1000万円で行けるでしょう」と話すのは、宇宙旅行を自指す旅行代

「ペプシのプレゼントとチトーさんの宇宙旅行ではずいぶん内容が違います。スペース・トラベラーズの計画が実現すれば、1000万円で行けるでしょう」と話すのは、宇宙旅行を自指す旅行代

「宇宙に行ってみよう」は60歳。これで、宇宙旅行には年齢的な壁がない。初めは大きな進歩だ。初の宇宙旅行者となったデニス・チトーさん



米実業家のチトーさんが乗ったロシアのソユーズ (ロイター・サン)

小泉首相の所信表明演説への国会代表質問をNHK総合テレビで見た人は、久しぶりに政治を身近に感じたに違いない。小泉首相は歴代首相とは明らかに違うキャラクターの持ち主で、

### 2015年には2850万円で30~35年後には100万円でいけるとか...

「100万円なら一生に一度行ってみたいという人もたくさんいます。若松社長は、1000万円の資金を集め、うち1200億円で12人乗りの宇宙船を5機から10機購入するとい

### チトーの毒味

さすが愛人と呼ばれるだけの政治家が作った。官僚が作った。多分、こぞとオモシロすぎる小



# 魂商のモウレツの競演日ソ

## ゴマールシヤル宇宙船狂騒曲



自ら「普通のおじさん」を名乗ってロケットに乗り込む秋山さん

秋山さんは「普通のおじさん」を自称する。では「普通のおじさん」でも宇宙に行けるのか。

まず、資格。昭和五十八年末、宇宙開発事業団が日本人のスペースシャトル搭乗員を公募した際の資格は「英語力、自然科学の知識」を除けば「身長一五二センチ以上一九三センチ以下、視力は裸眼〇・二以上かつ矯正一・〇以上」。

「NASAの基準をベースに作った。宇宙飛行士は特別な体力や運動能力が必要だと思われけど、パイロット以外の乗組員は基本的には健康であればいい」と事業団。「意外に大事なのは心理面。閉所恐怖症の人、精神病や協調性のない人も無理です」と体力より精神力を強調する。

### 資格はゆるやかな 精神力より体力

宇宙飛行士には、直接操縦もなかったの乗員(科学技にあたるパイロット、操縦(術士)との見方もあるが広い外のコンピュータ運用や管 意味ではPSだ)。制なしで行うミッションスペースシャリスト(MS)、科学的な実験を行うペイロードスペースシャリスト(PS)の三種類に分けられる。

### 毛利さんは2年以上に

事業団の飛行士に決まっていてる毛利衛さん(31)はPS。シャトル内で多くの材料実験を行う。秋山さんは「PSでもMSより時間がかか

## 1年余で旅立ち 訓練簡単

PSは実験内容によって異なるが、毛利さんの場合は、と、チャレンジャーの事故などで遅れなかったら二年三月くらい」と説明する。

### 厳しい、日の丸宇宙船

秋山さんも毛利さんも、乗るのは米ソという外国の宇宙船。日の丸宇宙船、はあり得ないのか。

秋山さんも毛利さんも、乗るのは米ソという外国の宇宙船。日の丸宇宙船、はあり得ないのか。小倉室長は「構想はあるがまだ研究段階。実際に飛ぶとしてもはるかかなたのこと」と悲観的見通しを語る。

### も証明した 観光時代到来

「観光時代到来も証明した」と小倉室長も認める。それはいつまでも秋山さんの旅立ちは宇宙を身近なものにしてきた。七年前、五万円で民間宇宙旅行を打ち出した東京・渋谷の旅行代理店「トラバートピア」社長の若松立

特報部  
03(471)7242

動かない物より動く物の方がロマンチック効果があるのだとか。F1レースの車体が広告で埋まっているのは有名なが、スチールの板やマラソン選手のゼッケン……、そして宇宙ロケットデスク・メモ

### 本音のJラ



え・サトウ タモン

福島県のある中学では、生徒たちが方言でしゃべりあうことを禁じているという。校長の説明によれば、将来、生徒たちがどこへでも苦勞しないようにと配慮しているらしい。

きつからである。東京の人のほうが訛りを気にしないといわれるからだ。まあ、東京人なんてほとんどが地方からやってき



### 都会派の問題

私は宮崎生まれだが、学生生活を広島で過ごした。そのころ、アウセンアヤ、ネーションが中心のファッション・友

ニユースの追跡話題の発掘

放送衛星を積んで打ち上げられた日本国産H1ロケット-さる8月28日、鹿児島県・種子島宇宙センターで



SPACE ACADEMY

# スペース アカデミー

宇宙旅行をお申込みになった方、また、宇宙旅行は決心がつかないけれどすごく興味があるという方のために、「気分はすっかり宇宙飛行士」になれるスペースアカデミーへの参加をおすすめします。

アラバマ州ハンツビルにあるスペースセンターで、宇宙飛行士の模擬訓練を体験できます。

宇宙ロケットセンター見学、各種シュミレーションでの訓練、宇宙食の試食など……。

オーランドではスペースシャトル発射基地である「ケネディー宇宙センター」を見学。

IMAX劇場で見る「夢は生きている」という映画はスペースシャトル乗組員の訓練の様子から打ち上げの瞬間、そしてシャトルの中から見る地球の美しいパノラマを5階半分の巨大スクリーンに映し出すすばらしいものです。

旅行代金

¥498,000より



## 日程表

都市	交通	日 程	食事
1 成田発 ハンツビル着	航空機	アトランタ経由にてアラバマ州ハンツビルへ到着後、スペースセンターへ (スペースセンター泊)	機
2 スペースセンター滞在		地上最大の宇宙博物館「アラバマ宇宙ロケットセンター」とNASA最大の施設「マッシュナル宇宙飛行センター」を見学 (スペースセンター泊)	朝昼夕
3 スペースアカデミー参加	DAY 1	主な訓練の内容 ●スペースシャトルのcockpitや管制塔のシュミレーターを使用した訓練 ●宇宙食試食	朝昼夕
4	DAY 2	●体重が通常の1/6になった場合と同じ体験ができる「ムーンウォークトレイナー」での歩行訓練 ●コンピューターを使った宇宙ステーション設計	朝昼夕
5	DAY 3	●打ち上げの模擬訓練 (スペースセンター泊)	朝昼夕
6 ハンツビル発 オーランド着	航空機	ハンツビルを立ちオーランドへ到着後、「ケネディー宇宙センター」「スペースポートUSA」などを見学 (オーランド泊)	朝 夕
7 オーランド滞在		ディズニーワールドエプコットセンターへ (オーランド泊)	朝 夕
8 オーランド発	航空機	朝、オーランドを立ち、アトランタ経由にて、帰国の途へ (機中泊)	朝 機 機
9 成田着		午後 成田到着	

1986年 6月1日

## PROJECT SPACE VOYAGE

# 宇宙への旅

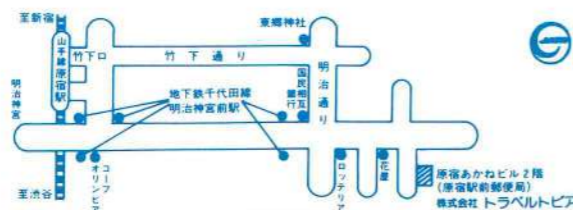
株式会社 トラベルピア  
SPACE EXPEDITIONS

お問合せ・お申込はお電話でどうぞ

**トラベルピア**  
03-406-1191

安心して旅をお楽しみいただくためにトラベルアドバイザーの山本と上原が皆様のお手伝いをいたします。

株式会社 **トラベルピア**  
運輸大臣登録一般旅行業 第667号  
社団法人 日本旅行業協会(JATA)正会員  
東京都渋谷区神宮前6-2-6  
千150 原宿あかねビル2F  
TEL. 03-406-1191  
FAX. 03-400-6602





## トラベルトピアは

### 宇宙旅行の予約を受け付けています。

あなたも世界で初めての『宇宙への観光客』になってみませんか？ 一軌道に沿ってまわりながら、蒼く輝く我々の星 地球を眺める—これ程エキサイティングでロマンチックな旅が今までにあつたでしょうか。

トラベルトピアはアメリカのスペース・エクスペディション社と提携して、この宇宙旅行を販売しています。スペース・エクスペディション社はスペースシャトル計画が推し進められる中、何年もかけてアメリカ政府や専門の宇宙学者との討議を重ね、このプロジェクトを現実のものとし、宇宙旅行はもはや「もしできたら・・・」という空想の世界を越え、「いつ頃行こうか・・・」と現実の計画を立てる段階にきているのです。

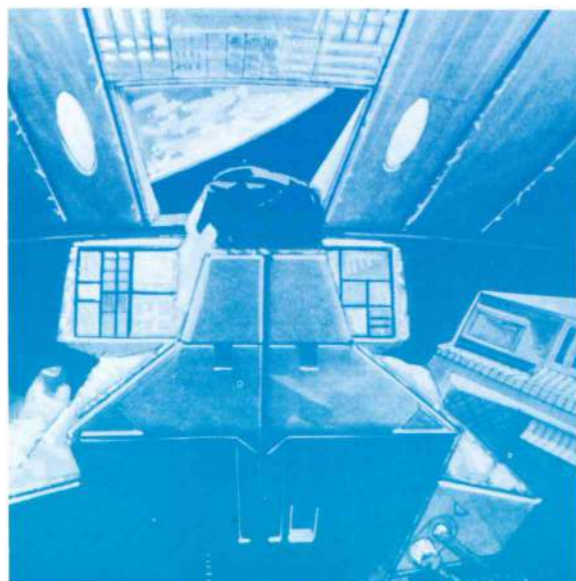
民間宇宙旅行はいよいよ1992年から始まります。コロンブスが新大陸を発見してから500年目にあたる記念の年1992年は、さらに歴史的な年になることでしょう。

宇宙への旅—人類の永年の夢がとうとう実現されるのです。

## 宇宙旅行費用.....¥8,800,000.-

- 宇宙旅行費用.....¥8,000,000.-
- トレーニング費用.....¥ 320,000.-
- 予約手数料.....¥ 480,000.-

(日本から離陸地までの航空券代は含まれておりません)



## 宇宙旅行日程

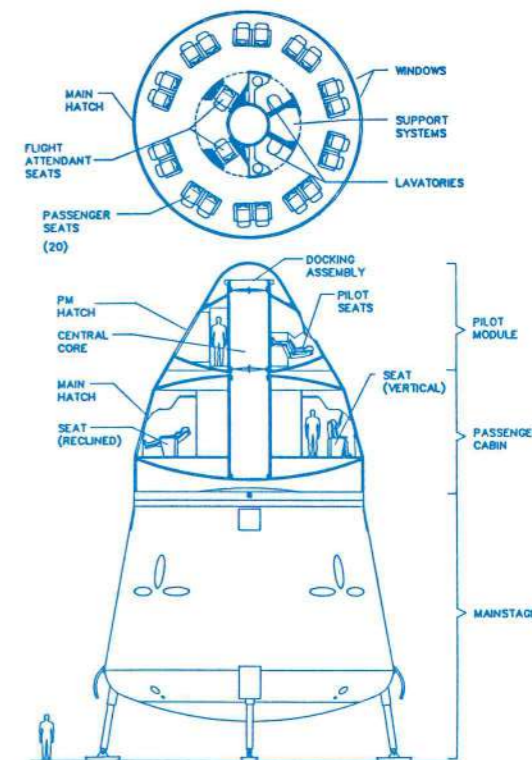
- 1日目：スペースセンター到着
- 2日目：トレーニング
- 3日目：トレーニング
- 4日目：トレーニング
- 5日目：いよいよ出発です。  
7時—発射台到着。乗船。乗組員より最終案内。  
8時—発射。ビデオで発射の瞬間や操縦室の様子を見ることができます。エンジン出力最大。エンジン音と体感重力が増加されます。  
大気圏外脱出。  
軌道に乗り、無重力状態に突入。  
船内の重力を調整。  
船内での飲食などについての実習。船内で行われる実験についての説明。  
8—12時間の飛行中には無重力体験、宇宙実験への参加、宇宙の大パノラマの写真撮影、地球との交信等、次から次へとプログラムは進みます。  
地球への帰還準備。  
大気圏内突入。近づいてくる地球をビデオで見ながら着陸体制に入ります。  
着陸
- 6日目：反省会
- 7日目：解散



宇宙旅行—そのスリルと喜びはもはやすぐ手に届くところにあります。地球の軌道を廻りながら我々の美しい大陸と海を地球上と全く異なる環球から見るという体験をイメージしてみてください。

「宇宙旅行をしてみたい」という夢を一度でも抱いたことのある方、もうその実現の時は来たのです。ご予約を心からお待ちしています。

スペースエクスペディション社社長  
スワーツ 氏



Schematic drawing of PHOENIX E with overview of passenger cabin.

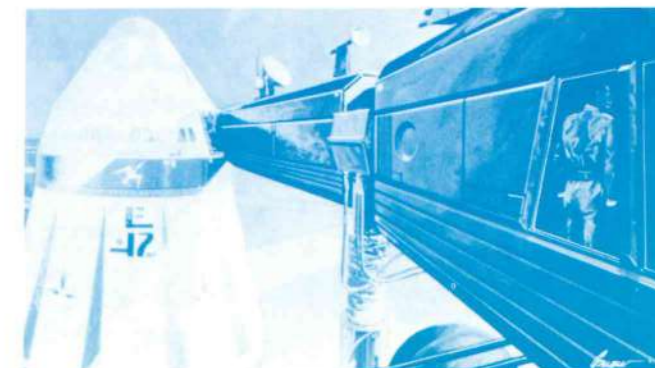
Society Expeditions

フェニックスE号

## 宇宙旅行の予約及び支払い

1. 申込書と申込金 ¥1,500,000 をお預りします。
2. 申込金入金後、1ヶ月以内に予約確認証、出発までの案内、及びスペースエクスペディション社の回報をお送りします。
3. 残金は日本出発日の1年前までにお支払いいただきます。

※この旅行はスペースエクスペディション社の主催によるものであり旅行条件等はアメリカ合衆国内法に従います。又、天災地変、技術、その他やむを得ない事情による日程の変更及び中止の場合、当社はその責任を負うものではありません。



我々の乗るのはパシフィック・アメリカン・ラウンチ・システムという会社が開発した20人乗りの宇宙船。1992—93年にかけて25回のフライトを予定しています。1994年からはさらに増便の計画もあります。

乗客の皆様には実際に乗組員の一人として、毎日のアドベンチャーに挑んでいただきます。第3者としてではなく、興味津々の調査員として。

フライトは8—12時間を予定しています。これは乗客の皆様が宇宙旅行を満喫するのに十分でしかも厳しい肉体訓練を必要としない最適な時間なのです。

宇宙船は地球の軌道に沿って進みながら、美しい宇宙の大パノラマを見せてくれます。このパノラマの美しさ、壮大さは過去の宇宙飛行士の誰もが「言葉に言い尽くせない」と賛美するすばらしいスケール。自分の目前にその世界が広がった時の感動は想像を絶するものであることでしょう。

もちろん、宇宙船にはプロの宇宙飛行士や宇宙学者が乗込みます。乗客の皆様には彼らの宇宙実験を実際に手伝っていただきます。人類最初の宇宙飛行士と同様のスリルと興奮が味わえることは間違いありません。

参加者には出発直前に、スペースセンターでの3日間のオリエンテーションに参加して、簡単なトレーニングと説明を受けていただきます。宇宙旅行をより有意義なものにするための専門家によるセミナーも行われます。





# Traveltopia INC.

HARAJUKU AKANE BLDG. 2F,  
6-2-6 JINGUMAE, SHIBUYA-KU,  
TOKYO-150, JAPAN  
TELEX: WKATOPIA J32681  
TEL. 03-406-1191  
FAX. 03-400-6602

ロマンと冒険の海外旅行  
株式会社 **トラベルトピア**

運輸大臣登録一般旅行業 第667号  
社団法人日本旅行業協会(JATA)正会員  
〒150東京都渋谷区神宮前6-2-6  
原宿あかねビル2F  
TEL. 03-406-1191  
FAX. 03-400-6602

## トラベルトピアは 宇宙旅行の予約を受け付けています。

あなたも世界で初めての『宇宙への観光客』になってみませんか？ -軌道に沿ってまわりながら、蒼く輝く我々の星 地球を眺める-これ程エキサイティングでロマンチックな旅が今までにあったでしょうか。

トラベルトピアはアメリカのソサイエティ・エクスペディション社と提携して、この宇宙旅行を販売しています。ソサイエティ・エクスペディション社はスペースシャトル計画が推し進められる中、何年もかけてアメリカ政府や専門の宇宙学者との討議を重ね、このプロジェクトを現実のものとししました。宇宙旅行はもはや「もしできたら・・・」という空想の世界を越え、「いつ頃行こうか・・・」と現実の計画を立てる段階にきているのです。宇宙観光旅行はいよいよ1992年から始まります。コロンブスが新大陸を発見してから500年目にあたる記念の年1992年は、さらに歴史的な年になることでしょう。宇宙への観光旅行-人類の永年の夢がとうとう実現されるのです。

我々の乗るのはパンフィック・アメリカン・ラウンチ・システムという会社が開発した20人乗りの宇宙船。1992-93年にかけて25回のフライトを予定しています。1994年からはさらに増便の計画もあります。

乗客の皆様には実際に乗組員の一人として、毎日のアドベンチャーに挑んでいただきます。第3者としてではなく、興味津々の調査員として。

フライトは8-12時間を予定しています。これは乗客の皆様が宇宙旅行を満喫するのに十分でしかも激しい肉体訓練を必要としない最適な時間なのです。

宇宙船は地球の軌道に沿って進みながら、美しい宇宙の大パノラマを見せてくれます。このパノラマの美しさ、壮大さは過去の宇宙飛行士の誰もが「言葉に言い尽くせない」と賛美するすばらしいスケール。自分の目前にその世界が広がった時の感動は想像を絶するものであることでしょう。

もちろん、宇宙船にはプロの宇宙飛行士や宇宙学者が乗込みます。乗客の皆様には彼らの宇宙実験を実際に手伝っていただきます。人類最初の宇宙飛行士と同様のスリルと興奮が味わえることは間違いありません。

参加者には出発直前に、スペースセンターでの3日間のオリエンテーションに参加して、簡単なトレーニングと説明を受けていただきます。宇宙旅行をより有意義なものにするための専門家によるセミナーも行われます。

宇宙旅行費用	\$ 50,000
トレーニング費用	\$ 2,000
予約手数料	\$ 3,200
	計 \$ 55,200

コミュニケーションフィー ¥ 50,000

\*日本から離陸地までの航空券代は含まれておりません。



## 日 程 表

1日目	スペースセンター到着。
2日目 3日目 4日目	オリエンテーション。 乗船に必要な知識とキャビン内部の説明、乗船の為のトレーニングなどを 受けます。
5日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>*いよいよ出発です。</li> <li>*7時-発射台到着。乗船。乗組員より最終案内。</li> <li>*8時-発射。ビデオで発射の瞬間や操縦室の様子を見ることができます。</li> <li>*エンジン出力最大。エンジン音と体感重力が増加されます。</li> <li>*大気圏外脱出。</li> <li>*軌道に乗り、無重力状態に突入。</li> <li>*船内の重力を調整。</li> <li>*船内での飲食などについての実習。船内で行われる実験についての説明。</li> <li>*8-12時間の飛行中には無重力体験、宇宙実験への参加、宇宙の大パノラマの写真撮影、地球との交信等、次から次へとプログラムは進みます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>*地球への帰還準備。</li> <li>*大気圏内突入。近づいてくる地球をビデオで見ながら着陸体制に入ります。</li> <li>*着陸。</li> <li>*スペースセンターにもどって宇宙旅行の疲れを癒やして下さい。</li> </ul>
6日目	反省会。乗組員が皆様の質問にお答えいたします。 スペースセンターの施設はお迎えのご家族やご友人の方々にもご利用いただけます。
7日目	解散。





# Traveltopia INC.

HARAJUKU AKANE BLDG. 2F,  
6-2-6 JINGUMAE, SHIBUYA-KU,  
TOKYO-150, JAPAN  
TELEX: WKATOPIA J32681  
TEL. 03-406-1191  
FAX. 03-400-6602

ロマンと冒険の海外旅行

株式会社 **トラベルトピア**

運輸大臣登録一般旅行業 第667号  
社団法人日本旅行業協会(JATA)正会員  
〒150東京都渋谷区神宮前6-2-6  
原宿あかねビル2F  
TEL. 03-406-1191  
FAX. 03-400-6602

## 宇宙旅行の予約及び支払い方法

1 予約手数料及び 申込金の支払い	予約申込書に名前、住所、電話番号、生年月日、職業、 身長、体重、及び希望の離陸日を記入の上、 ¥1,500,000- を添えてお申込み下さい。 (支払い当日の換算レートによる日本円にてお支払い いただきます。)
2 予約確認書送付	1の方法にて予約申込みをしていただきますと3週間後に 以下の書類をご送付いたします。  ①予約確認書 ②出発準備の為の案内書 ③ソサイエティエクスペディション社の回報 “カウントダウン”
3 残金の支払い	残金 は日本出発日の一年前までにお支払い いただきます。
4 費用に 含まれるもの	*宇宙飛行代金(乗務員の他に最低2人のスタッフが皆様の 安全の為に世話致します。) *オリエンテーション参加費用(ホテル代、食費を含む) *オリエンテーション会場から打ち上げ台までの送迎 *宇宙服一式の貸出費用 注:日本からオリエンテーション会場までの旅費は 別料金となります。
5 健康診断書提出	離陸日より1年前までに健康診断書を提出していただきます。
6 取消料について	離陸日より1年以上前の取消し - (未定)  " 1年前 -6ヶ月前 "
	" 6ヶ月前-3ヶ月前 " - " 3ヶ月前-当日 " -

お申込み・お問合せは  
株式会社 **トラベルトピア**  
(TEL) 03-406-1191  
渋谷区神宮前6-2-6  
原宿あかねビル



TRAVELTOPIA

PROJECT SPACE VOYAGE

宇宙への旅 参加申込書

(フリガ)

(漢字)

NAME 氏名

PREFERRED LAUNCH DATE 飛行希望日

HOME ADDRESS 現住所

PHONE 電話番号

OFFICE 勤務先名称

役職

OFFICE ADDRESS 勤務先住所

PHONE 勤務先電話番号

DATE OF BIRTH 生年月日

身長

体重

EMERGENCY ADDRESS 渡航中の国内連絡先

PHONE 電話番号

有 無

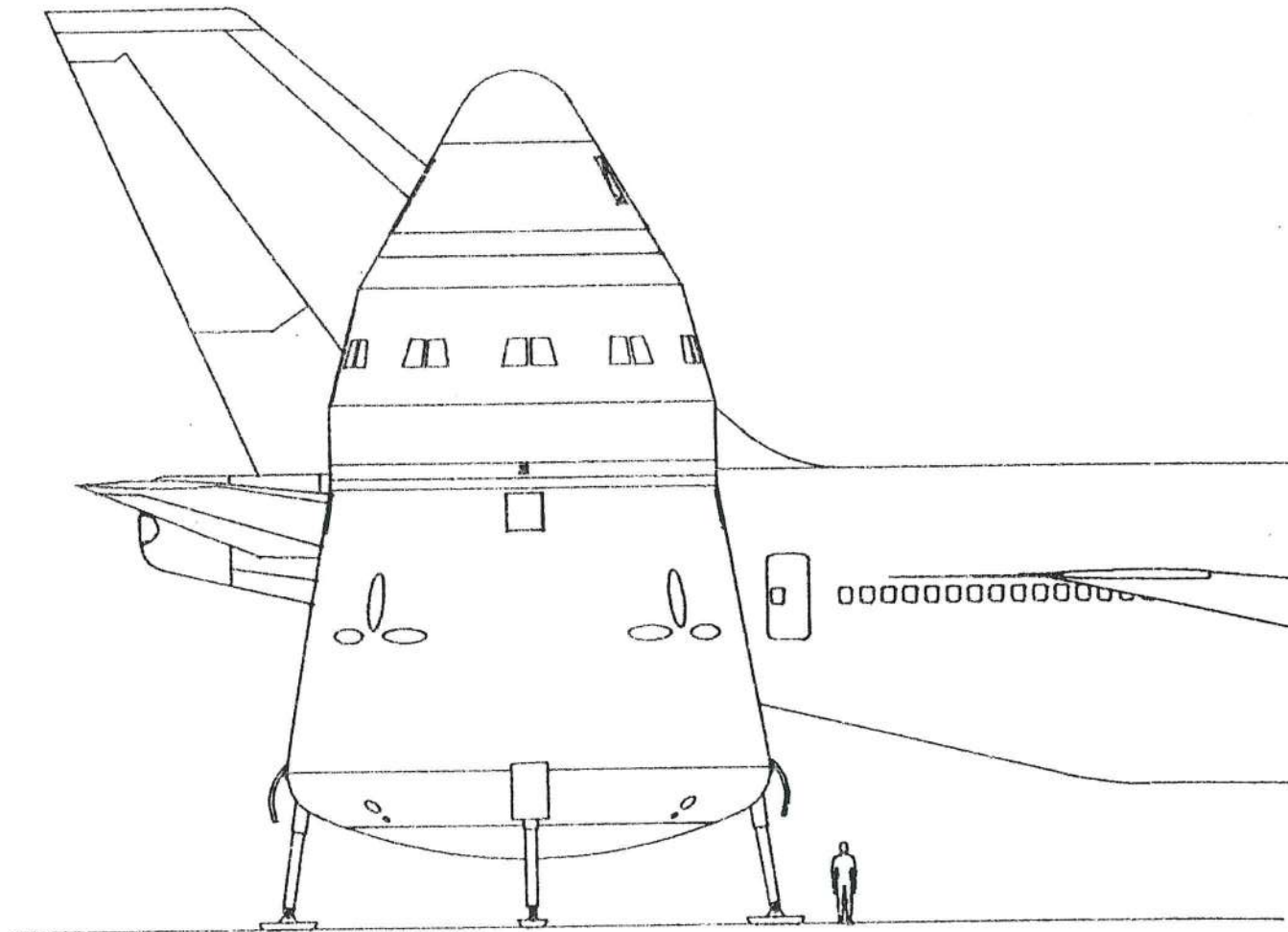
SMOKER OR NON SMOKER 喫煙

『宇宙への旅』に参加を申込みます。

昭和 年 月 日

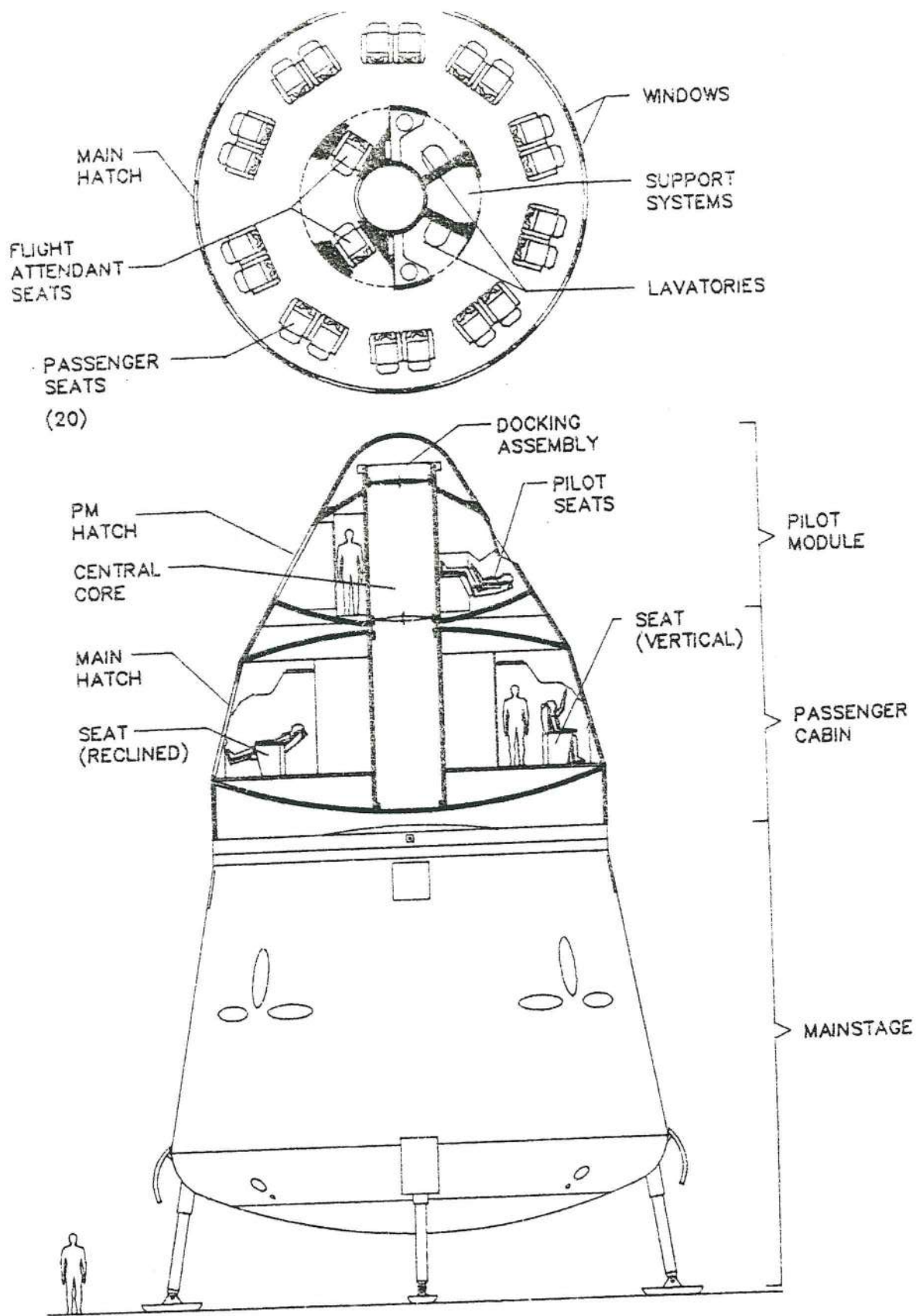
SIGNATURE 本人署名





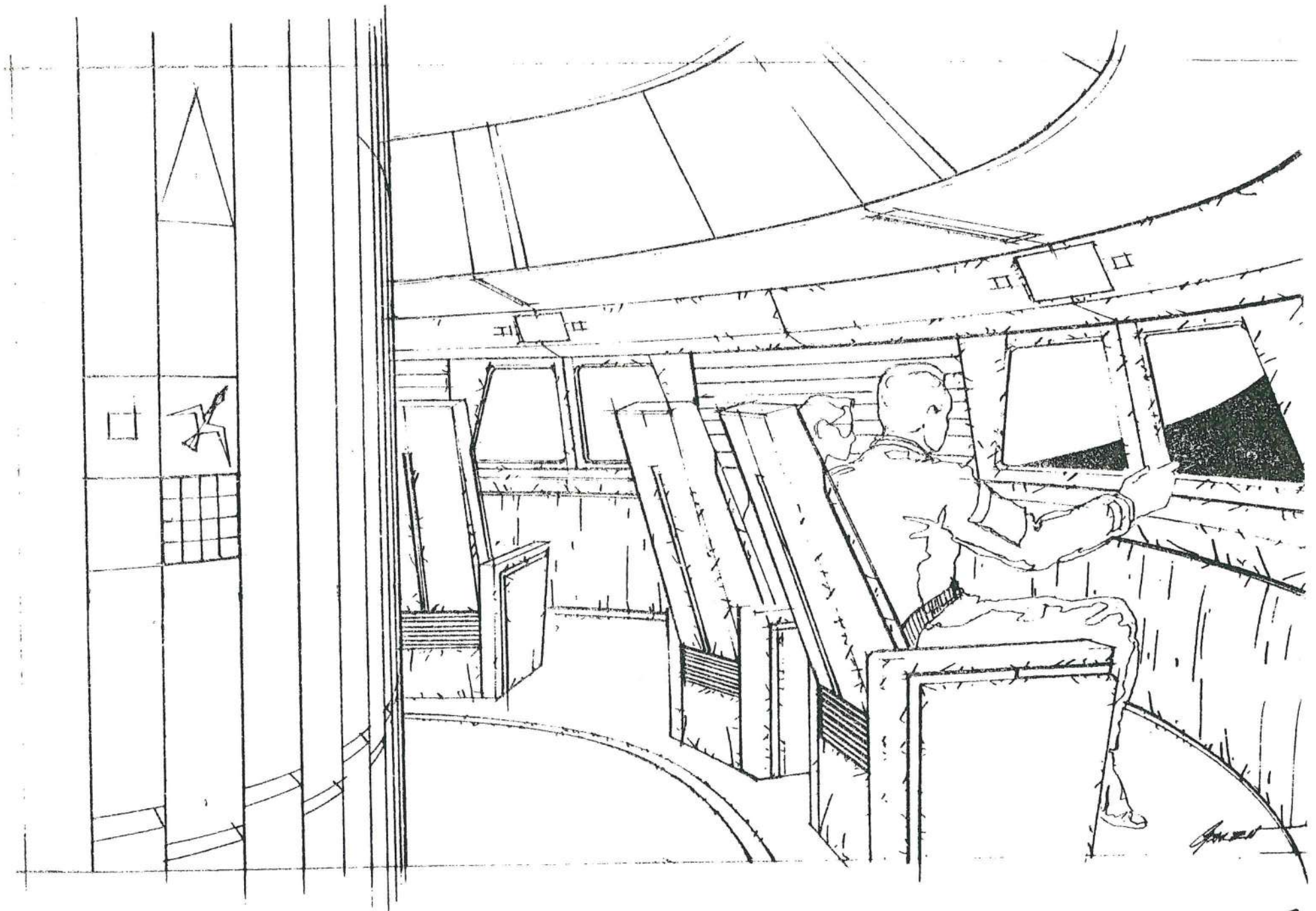
The PHOENIX E will stand nearly as tall as a 747's tail - 57 feet.





Schematic drawing of PHOENIX E with overview of passenger cabin.

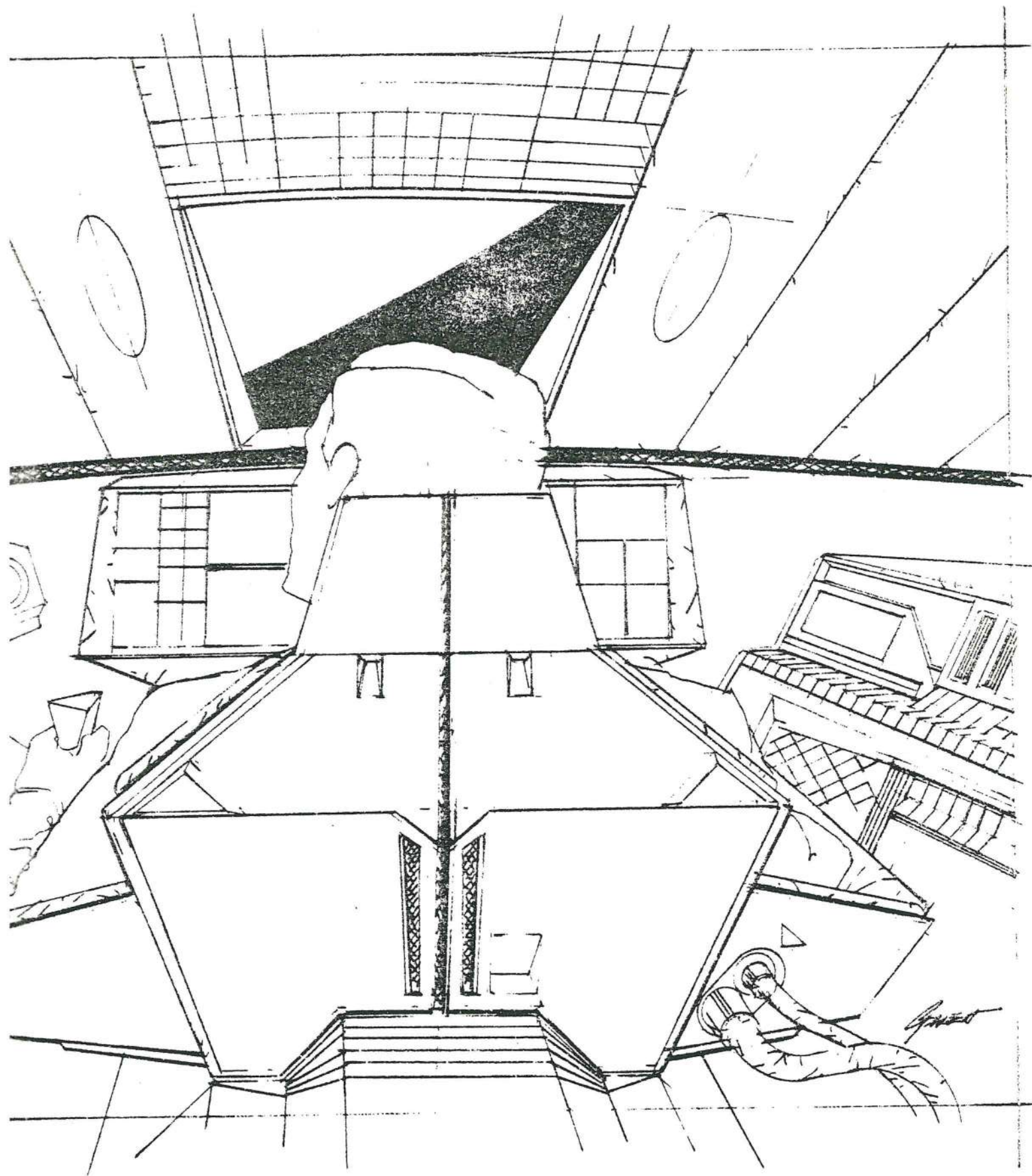




The 20 foot wide cabin offers generous  
pace and the comfort of a jet aircraft.

  
**Society Expedition**

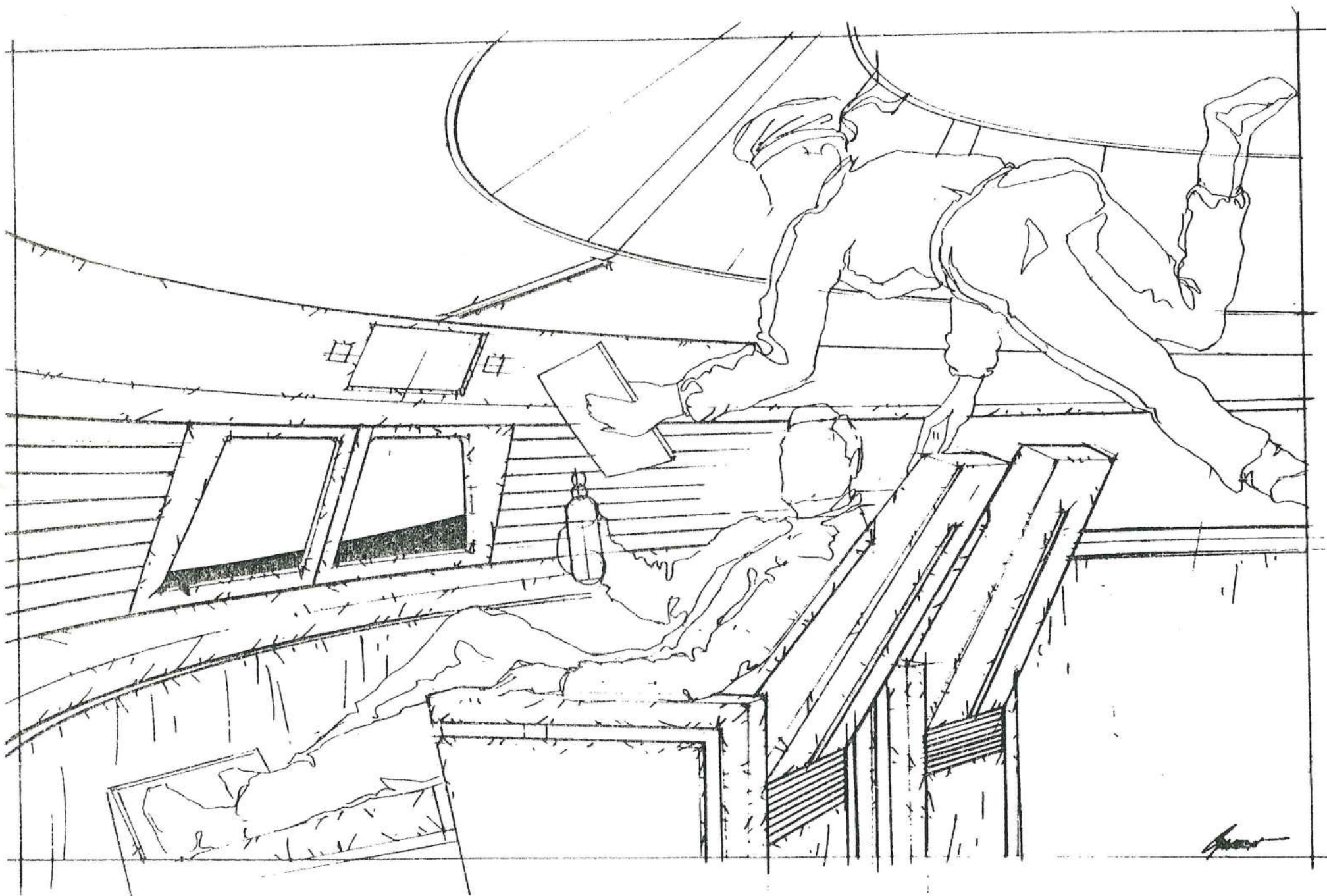




Windows at each passenger seat give everyone a "perfect" view during the expedition.

  
**Society Expeditions**





A crew of five will assist passengers



1988年4月1日

**PROJECT SPACE VOYAGE**

# 宇宙への旅



株式会社 トラベルトピア

SPACE EXPEDITIONS

株式会社 スペーストピア



## トラベルトピアは

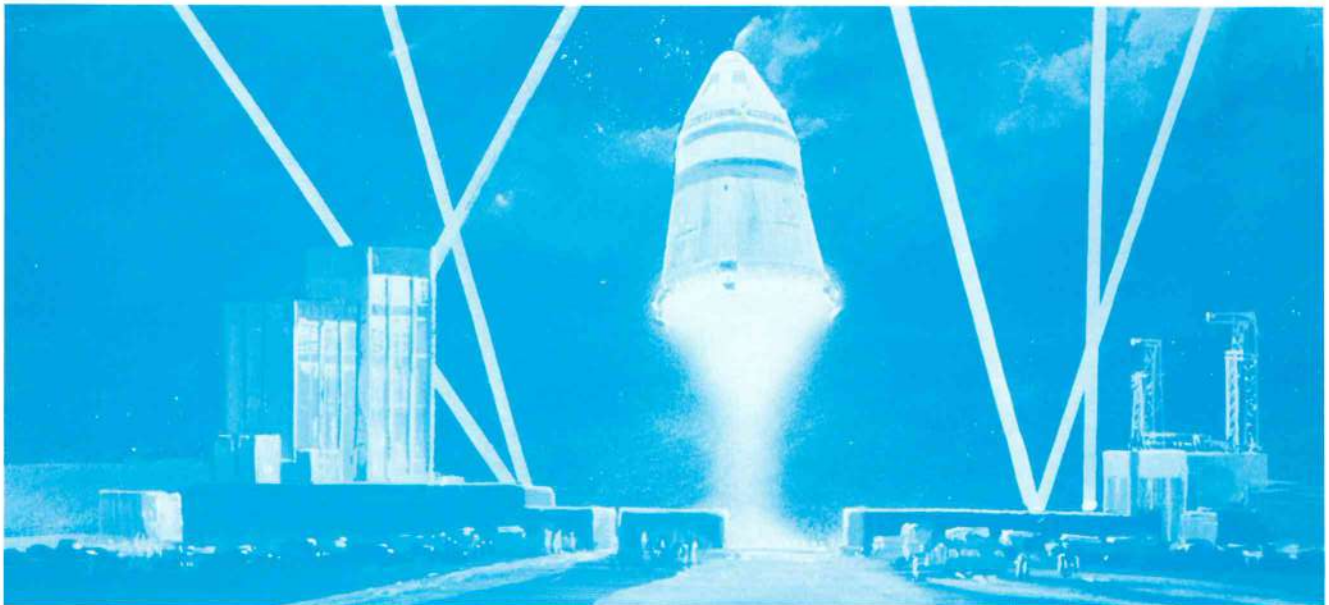
### 宇宙旅行の予約を受け付けています。

あなたも世界で初めての『宇宙への観光客』になってみませんか？ —軌道に沿ってまわりながら、蒼く輝く我々の星 地球を眺める—これ程エキサイティングでロマンチックな旅が今までにあったでしょうか。

トラベルトピアはアメリカのスペース・エクスペディション社と提携して、この宇宙旅行を販売しています。スペース・エクスペディション社はスペースシャトル計画が推し進められる中、何年もかけてアメリカ政府や専門の宇宙学者との討議を重ね、このプロジェクトを現実のものとししました。宇宙旅行はもはや「もしできたら・・・」という空想の世界を越え、「いつ頃行こうか・・・」と現実の計画を立てる段階にきているのです。

民間宇宙旅行はいよいよ1992年から始まります。コロンブスが新大陸を発見してから500年目にあたる記念の年1992年は、さらに歴史的な年になることでしょう。

宇宙への旅——人類の永年の夢がとうとう実現されるのです。



## アメリカン・スペース・コーポレーション

我々の乗るのはアメリカン・スペース・コーポレーションという会社が開発した20人乗りの宇宙船。1992—93年にかけて25回のフライトを予定しています。1994年からはさらに増便の計画もあります。

乗客の皆様には実際に乗組員の一人として、毎日のアドベンチャーに挑んでいただきます。第3者としてではなく、興味津々の調査員として。

フライトは8—12時間を予定しています。これは乗客の皆様が宇宙旅行を満喫するのに十分でしかも厳しい肉体訓練を必要としない最適な時間なのです。

宇宙船は地球の軌道に沿って進みながら、美しい宇宙の大パノラマを見せてくれます。このパノラマの美しさ、壮大さは過去の宇宙飛行士の誰もが「言葉に言い尽くせない」と賛美するすばらしいスケール。自分の目前にその世界が広がった時の感動は想像を絶するものであることでしょう。

もちろん、宇宙船にはプロの宇宙飛行士や宇宙学者が乗込みます。乗客の皆様には彼らの宇宙実験を実際に手伝っていただきます。人類最初の宇宙飛行士と同様のスリルと興奮が味わえることは間違いありません。

参加者には出発直前に、スペースセンターでの3日間のオリエンテーションに参加して、簡単なトレーニングと説明を受けていただきます。宇宙旅行をより有意義なものにするための専門家によるセミナーも行われます。



# 宇宙への旅 日程

## Day 1

午後、スペースセンター到着。翌日からの3日間のトレーニングにそなえて、ゆっくりくつろいで下さい。全てのトレーニングプログラムは、スペースエクスペディション社、その顧問委員会、そしてアメリカンスペースコーポレーションによって行われます。

## Day 2, 3, 4

(内容)

- スペースエクスペディション社スタッフ及び顧問によるオリエンテーション
- シュミレーションを使ってキャビン内の説明
- オーディオ・ビデオ機材を使ってのオリエンテーション。

## Flight Scenario Day 5

7a.m.

発射台到着

“ジェットウェイ”を通してキャビン内へ予め決まっている自分の席に着く。(全ての席の前にはやがて宇宙の大パノラマが広がるはずのウィンドウが有ります)

8a.m.

発射。

発射の瞬間を外から映した映像及び、操縦室の様子をビデオで見ることができます。

エンジン出力最大。エンジン音と体感重力が増加。

大気圏外脱出。

エンジン音が減少し、100,000フィート(30,000m)の軌道に沿っての運行開始。



目の前に地球の大パノラマが広がります。

操縦室の飛行士たちの様子もビデオに映し出されます。

無重力状態に突入

船内の重力を調整

船内での飲食などについての実習。

船内で伝わる実験の説明。

宇宙の大パノラマの写真撮影、地球との交信、宇宙実験への参加等、次から次へとプログラムが進みます。

大気圏突入30分前

地球への帰還準備

5分間3Gが続きます。

大気圏突入

近づいてくる地球を見ながら着陸体制に入ります。

着陸



## Day 6

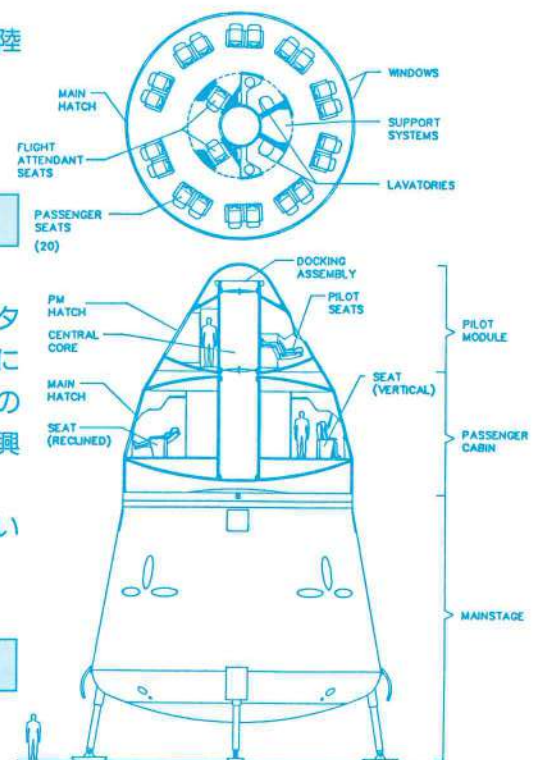
反省会

スペースエクスペディション社スタッフがフライトについての質問等にお答えします。スペースセンターの各種の設備で、フライトの疲れと興奮を静めて下さい。

家族の方もごいっしょにすごしていただけます。

## Day 7

解散



Schematic drawing of PHOENIX E with overview of passenger cabin.



## 宇宙旅行の費用及び予約方法

1. 宇宙旅行費用	¥9,800,000- 宇宙旅行費用、トレーニング費用及び予約手数料を含みます。 (日本から離陸地までの交通費は含まれておりません)
2. 予約手数料及び申込金の支払い	予約申込書に名前、住所、電話番号、生年月日、職業、身長、体重、及び希望の離陸日を記入していただきます。 一週間以内に申込金¥1,800,000をお振り込み下さい。
3. 予約確認書送付	1の方法にて予約申込みをしていただきますと4週間後に以下の書類をご送付いたします。 ①予約確認書 ②出発準備の為の案内書 ③ソサイエティエクスペディション社の回報「カウントダウン」
4. 残金の支払い	残金は日本出発日の一年前までにお支払いいただきます。
5. 費用に含まれるもの	*宇宙飛行代金(乗務員の他に最低2人のスタッフが皆様の安全の為に世話致します。) *オリエンテーション参加費用(ホテル代、食費を含む) *オリエンテーション会場から打ち上げ台までの送迎 *宇宙服一式の貸出費用 注:日本から離陸地(アメリカ・カリフォルニア州を予定)までの旅費は別料金となります。
6. 健康診断書提出	離陸日より1年前までに健康診断書を提出していただきます。
7. キャンセルの場合の払い戻し金額	離陸日より1年以上前の取消し — ¥1,800,000円申し受けます // 1年前 — 6ヶ月前 // — ¥3,000,000円申し受けます // 6ヶ月前 — 3ヶ月前 // — ¥7,000,000円申し受けます // 3ヶ月前 — 1ヶ月前 // — ¥8,000,000円申し受けます // 1ヶ月前 — 当日 // — 全額申し受けます

## Reservations Now Accepted

Society Expeditions Space Travel Company, Inc., hereafter referred to as STC, a Washington Corporation, is accepting reservations from individuals interested in PROJECT SPACE VOYAGE.

Flights are scheduled weekly beginning October 1992. Reservations are accepted in order of receipt, on a first-come, first-served basis. To reserve your flight, follow these steps:

1. Documentation information. Please provide your full name, address, telephone number, date of birth, occupation, height and weight.
2. Preferred launch date. Flights are planned to operate weekly, on a year-round basis. You will be offered a reservation on the first available flight closest to your requested date.
3. Payment. Make out a check for US \$200 payable to Society Expeditions Space Travel Company to cover your Registration and Documentation Fee. Make out a second check for US \$5000 to PROJECT SPACE VOYAGE ESCROW ACCOUNT. The escrow account is with a major national bank. You will be advised of details concerning the escrow account upon receipt of your reservation.
4. Mail the documentation information, launch-date request and the two checks to: Society Expeditions Space Travel Company, Inc., Society Expeditions Building, 3331 Elliott Avenue, Suite 700, Seattle, Washington, 98121 USA.

Within four weeks you will receive:

1. Your official PROJECT SPACE VOYAGE registration certificate with your priority number, flight number and expected departure date.
2. Documentation and information packet.

### 3. Recommended reading and preparation.

4. A copy of an escrow agreement covering the terms of your escrowed \$5000 deposit.
5. Additional information as appropriate.
6. A current copy of the PROJECT SPACE VOYAGE "Countdown" newsletter.

### Conditions

**Reservations:** Reservations can be made by following the procedures described above. You may make reservations for specific third parties. Reservations are confirmed only upon receipt of the \$200 Registration fee and the \$5000 Escrowed Deposit indicated above.

**Final Payment:** Final Payment is payable to the escrow account one year prior to departure and is refundable in case of cancellation as described in the Cancellations and Refunds paragraph.

**Cancellations and Refunds:** In case of cancellation more than one year prior to departure, the \$5000 escrowed deposit is fully refundable upon written request of the passenger and the return of the documents and reservation certificates you have received. If cancellation is made less than one year before flight, the \$5000 Escrowed Deposit is forfeited as cancellation fee; if less than six months prior to departure, 50% of the cost of the project is forfeited; and if less than 3 months prior to departure, 100% of the cost of the project is forfeited as cancellation fee. The \$200 Registration Fee made at time of booking is not refundable.

**Health Notice:** These expeditions are intended for persons in reasonably good health and without physical disabilities which would create a hazard either for the passenger or other passengers. By forwarding of the deposit for passage, the passenger certifies that he/she does not have any physical or other condition of disability that would create a hazard for him/herself or other passengers. STC, Inc., reserves

the right to decline to accept or retain any person or member of any expeditions should such person's health, actions or general deportment impede the operation of the expedition or the rights or welfare or enjoyment of other members of the expedition.

**Responsibility:** STC, Inc., acts only as agent for the suppliers and contractors providing transportation and/or all other related travel services and assumes no other responsibility however caused for personal injury, personal or property loss or damage in connection with any service. Due to the extended planning time of the PROJECT SPACE VOYAGES, delays in launch date may occur, and STC will not be held responsible for these delays. In case of cancellation and with no other rescheduled date offered to the passenger within one year of the original confirmation, then the passenger at his option may immediately be refunded all payments made for the PROJECT SPACE VOYAGE except the \$200 Registration Fee. Reasonable changes in the itinerary may be made where necessary or deemed advisable for the comfort and well-being of the passenger. All passengers on trips and expeditions operated by STC recognize that circumstances over which STC has no control or Acts of God, and in case of such circumstances, it is recognized and agreed that STC shall not be liable to passengers but only shall be liable for specific acts of negligence on the part of STC or its agents. On advancement of deposit to STC, the depositor therefore agrees to be bound by the terms and conditions here mentioned.

**GUARANTEED REFUND UPON DEMAND. UNDER ANY CIRCUMSTANCES, PRIOR TO ONE YEAR BEFORE DEPARTURE, YOU WILL BE REFUNDED YOUR ESCROWED DEPOSIT OF \$5000 FOR WHATEVER REASON UPON YOUR WRITTEN CONFIRMATION THAT YOU WISH TO CANCEL YOUR RESERVATION AND WISH TO BE REFUNDED.** If for any reason STC, Inc. cancels the flight without offering an alternative date within one year of the original confirmation, you have the option of receiving all Escrowed Deposits you have made, or retaining your priority number by applying your deposit to the first available flight.

### Expedition Features

**Space Flight:** The fare includes transportation from launch site to low earth orbit and return by manned spaceship, certified and passenger-rated by the appropriate authorities. The flight includes meal service as appropriate, and seats with a window view.

**Expedition Leaders:** You are accompanied during the flight by at least two staff members specially trained in space travel and safety. (In addition to the flight crew of three.)

**Hotel (pre- and post-flight):** You will be accommodated at a specially prepared resort where your orientation takes place.

**Meals:** All meals (breakfast, lunch and dinner) are included on an a la carte basis during the orientation and training program before and after the flight.

**Lectures and Orientation:** All briefings, training and preparations by accompanying experts, astronauts and expedition leaders are included.

**Orientation Manuals, Preparation Materials:** All appropriate references, manuals and preparatory materials are included.

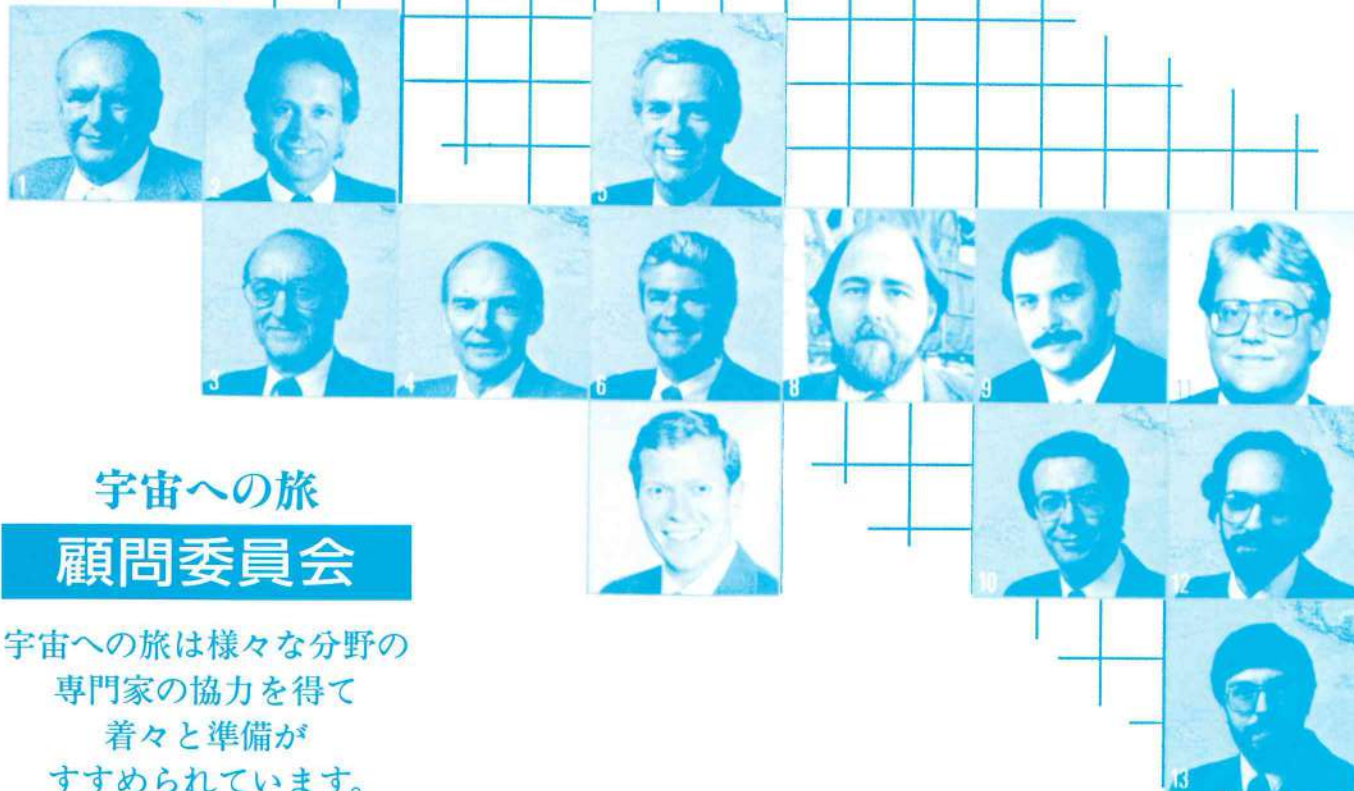
**Expedition Clothing and Gear:** Appropriate clothing for the flight will be provided, including a specially designed flight suit, special sunglasses, footwear, log and amenities.

**Transfers:** Group transfers will be provided from the space resort and lodge to the launch site and return.

Cost of PROJECT SPACE VOYAGE: \$50,000  
Accommodation and Training: \$2,000  
Registration and Documentation Fee: \$200

Society Expeditions Space Travel Company, Inc.  
© Copyright 1986, All Rights Reserved.





## 宇宙への旅 顧問委員会

宇宙への旅は様々な分野の  
専門家の協力を得て  
着々と準備が  
すすめられています。

### (1) Maxwell W. Hunterll

宇宙への旅顧問委員会委員長。宇宙ロケット産業の先駆者である。ダグラス社在職中に、ミサイルの航空力学的デザインに多大な功献をした。J.F.ケネディ大統領に宇宙計画についてのアドバイスをし、宇宙に関する国内法制定に関与した。ロックヒードミサイルアンドスペースカンパニー在職中にはスペースシャトル用の使いすて燃料タンクを考案した。これからも宇宙産業界のリーダーとしての役割が期待されている。

### (2) Tc Swarz

スペースエクスペディション社の社長。慎重、大たんかつ先見の明のある経営者で、ソサイエティエクスペディション社を設立。経営し、世界の秘境への旅を作ってきたが、宇宙への旅に専念するため、別会社としてスペースエクスペディション社を発足させた。彼が、このプロジェクトの発案者である。

### (3) Gerge E Mueller Ph.D.,

インターナショナルアカデミーオブアストロノーテック社社長。システムデベロップメント社の前社長。NASAのスタッフの一員をしていた時にはジェミニからアポロ2号(1963~1970)を担当し有人宇宙飛行の成功に寄与した。

### (4) David C. Webb Ph. D

アメリカ合衆国大統領に宇宙計画に関する公式レポートを提出する宇宙委員会の委員。宇宙評論家として、又、宇宙産業のコンサルタントの草分けとして有名。

### (5) Brian T. O'Leay Ph. D

スペースアプリケーションインターナショナル社のスタッフ。科学者であると同時に以前はNASAの宇宙飛行士でもあった。未来的な発想と宇宙への情熱を持つすぐれた作家でもある。

### (6) Peter Voll

スタンフォード大学同窓会理事。数多くの旅行企画を世に出している。

### (7) Byron K. Lichtenberg

ペイロードシステム社社長。スペースシャトルコロンビア号の元宇宙飛行士。

### (8) Leonard W. Devid

スペースワールド誌の主任編集者。宇宙委員会の研究者であると同時に将来の宇宙に関する国内法に関する大統領諮問委員会のディレクターでもある。

### (9) Michael Ergle

ペイロードシステムインターナショナル社社長。

### (10) Richard Dowling

スペースメディア社社長。宇宙関係のメディアの製品を扱っている。

### (11) Chales M. Chaber

スペースサービス社の副社長。低コストの宇宙船の開発及びマーケティングを担当。

### (12) Barry J Linder M. D

ワシントン大学医学部眼科所属。ジョンソンスペースセンターの客員、科学者として宇宙医学を研究している。専門は宇宙酔い。NASAの宇宙ステーション計画の顧問でもある。

### (13) Paul Sipierra

ウィリアムレイニーハーパーカレッジの地質学及び天文学教授。アメリカ合衆国南極研究委員会所属の科学者。シカゴ博物館米国史担当顧問。月ロケットの研究者としても有名。



# SPACE ACADEMY スペース アカデミー

旅行代金  
¥498,000より

宇宙旅行の訓練の一環としてスペースアカデミーへの参加をおすすめします。

アラバマ州ハンツビルにある地上最大の宇宙博物館「アラバマ宇宙ロケットセンター」とNASA最大の施設「マーシャル宇宙飛行センター」を利用した宇宙飛行士の模擬訓練を体験できるセミナーです。

宇宙ロケットセンター見学、スペースシャトルコックピット及び管制塔のシュミレーションを使つての訓練、宇宙飛行士がスペースシャトルの中でどのような仕事をし、どのように生活しているかの学習、さらにスペースシャトルの打ち上げ時の加速度3G（体重が3倍になった感覚）を体験するプログラムもあります。本物の宇宙飛行士たちの訓練ぶりを見学するチャンスもあるかも知れません。

## 日程表

	都市	交通	日 程	食事
1	成 田 発 ハンツビル着	航空機	アトランタ経由にてアラバマ州ハンツビルへ到着後、スペースセンターへ 〈スペースセンター泊〉	機
2	スペース センター滞在		地上最大の宇宙博物館「アラバマ宇宙ロケットセンター」とNASA最大の施設「マーシャル宇宙飛行センター」を見学 〈スペースセンター泊〉	朝昼夕
3	ス ペ ー ス ア カ デ ミ ー 参 加	DAY 1	主な訓練の内容 ●スペースシャトルのコックピットや管制塔のシュミレーターを使用しての訓練 ●宇宙食試食 ●体重が通常の1/6になった場合と同じ体験ができる「ムーンウォークトレイナー」での歩行訓練 ●コンピューターを使つての宇宙ステーション設計 ●打ち上げの模擬訓練 〈スペースセンター泊〉	朝昼夕
4		DAY 2		朝昼夕
5		DAY 3		朝昼夕
6	ハンツビル発 オーランド着	航空機	ハンツビルを立ちオーランドへ到着後、「ケネディー宇宙センター」「スペースポートUSA」などを見学 〈オーランド泊〉	朝 夕
7	オーランド 滞在		ディズニーワールドエプコットセンターへ 〈オーランド泊〉	朝 夕
8	オーランド発	航空機	朝、オーランドを立ち、アトランタ経由にて、帰国の途へ 〈機 中 泊〉	朝 機 機
9	成 田 着		午後 成田到着	



お問合せ・お申込はお電話でどうぞ

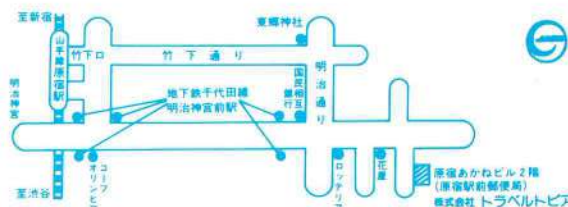
**トラベルピア**  
03-406-1191

株式会社 **トラベルピア**

運輸大臣登録一般旅行業 第667号  
社団法人 日本旅行業協会(JATA)正会員  
東京都 渋谷区 神宮前6-2-6  
〒150 原宿あかねビル2F

TEL. 03-406-1191

FAX. 03-400-6602





# スペースピア 宇宙旅行 募集要項

- 〔Ⅰ〕 宇宙旅行費用 ¥28,550,000.-
- |                        |                                |
|------------------------|--------------------------------|
| ①宇宙船運行費                | ¥27,500,000.- (US\$250,000.00) |
| ②宿泊、食事、パーティ費           | ¥300,000.- (US\$3,000.00)      |
| ③登録、トレーニング、資料、宇宙服一式    | ¥200,000.- (US\$2,000.00)      |
| ④成田/ロス・アンゼルス(往復)航空券    | ¥500,000.- [ビジネスクラス]           |
| ⑤ロス・アンゼルス/スペースセンター間交通費 | ¥50,000.-                      |
- 〔Ⅱ〕 旅行期間 2015年10月01日～08日(8日間)
- 第1回～3回 フライト 2015年10月05日  
 第4回～6回 フライト 2015年10月06日  
 第7回～9回 フライト 2015年10月07日  
 全9回のフライト予定です。
- 〔Ⅲ〕 予約手数料及び  
申込金の支払い 予約申込書に名前、住所、電話番号、生年月日、職業、身長、体重、及び希望の離陸日を記入していただきます。  
一週間以内に申込金 500万円をお振り込み下さい。
- 〔Ⅳ〕 予約確認書送付 予約を申込していただきますと4週間後に以下の書類をご送付致します。  
① 予約確認書 ② 出発準備の為の案内書 ③ スペースピアの回報
- 〔Ⅴ〕 残金の支払い 残金は日本出発日の一年前までにお支払いいただきます。
- 〔Ⅵ〕 費用に含まれるもの \*宇宙飛行代金(乗務員の他に最低2人のスタッフが皆様の安全のために  
お世話致します。)  
\*オリエンテーション参加費用(ホテル代、食費を含む)  
\*オリエンテーション会場から打ち上げ台までの送迎  
\*宇宙服一式の貸出費用  
\*日本から離陸地(アメリカ・カリフォルニア州を予定)までの旅費
- 〔Ⅶ〕 健康診断書提出 離陸日より1年前までに健康診断書を提出していただきます。
- 〔Ⅷ〕 キャンセルの場合の  
払い戻し金額 離陸日より1年以上前の取り消し — ¥1,800,000.-申し受けます  
// 1年前～6ヶ月前 // — ¥3,000,000.-申し受けます  
// 6ヶ月前～3ヶ月前 // — ¥7,000,000.-申し受けます  
// 3ヶ月前～1ヶ月前 // — ¥8,000,000.-申し受けます  
// 1ヶ月前～当日 // — 全額申し受けます



# 宇宙への旅

DAY 1	<p>成田 発 航空機 ロス・アンゼルス 着 ロス・アンゼルス 発 バス モハベ 着</p> <p>モハベ・スペース ポート到着 スペースピア サロンにて歓迎パーティー モハベ・スペース センターにて、翌日からの3日間のトレーニングに備えてゆっくりくつろいで下さい。</p>
----------	---

DAY 2	<p>スペースピアの専門スタッフと米国の技術アドバイザーによるオリエンテーション、トレーニングを3日間行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ エアロビクス 宇宙体操トレーニング</li> <li>◎ オーディオ・ビデオ機材を使って宇宙船の説明</li> <li>◎ バーチャルリアリティーによるシュミレーション体験</li> <li>◎ 宇宙についての講義 a)宇宙法 b)無重力</li> </ul> <p>夜は、スペースピア サロンにてパーティ</p>
----------	--

DAY 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2回 バーチャルリアリティーによるシュミレーション体験</li> <li>● 第2回 宇宙エアロビクス体操トレーニング</li> <li>● 宇宙についての講義 a)宇宙医学 b)宇宙写真の取り方</li> <li>● 宇宙食の試食会</li> </ul>
----------	--

DAY 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3回 バーチャルリアリティーによるシュミレーション体験</li> <li>● 第3回 宇宙エアロビクス体操トレーニング</li> <li>● 宇宙についての講義 a)宇宙実験についての説明 b)地球との交信方法についての説明</li> <li>● 宇宙服の試着</li> </ul>
----------	---

DAY 5	<p><b>Flight Scenario</b></p> <p>7 a.m. 発射台到着 "ジェットウェイ"を通してキャビン内へ予め決まっている自分の席に着く。(全ての席の前にはやがて宇宙の大パノラマが広がるはずのウィンドウが有ります)</p> <p>8 a.m. 発射 発射の瞬間を外から写した映像及び、操縦室の様子をビデオで見ることが出来ます。 エンジン出力最大。エンジン音と体感重力が増加。 大気圏外脱出。 エンジン音が減少し、200kmの軌道に沿っての運行開始。 目の前に地球の大パノラマが広がります。 操縦室の飛行士たちの様子もビデオに映し出されます。 無重力状態に突入 船内の重力を調整 船内での飲食などについての実習。 船内で伝わる実験の説明。 宇宙の大パノラマの写真撮影、地球との交信、宇宙実験への参加など、次から次へとプログラムが進みます。 大気圏突入30分前。 地球への帰還準備。 5分間 3Gが続きます。 大気圏突入。 近づいてくる地球を見ながら着陸体制に入ります。 着陸</p>
----------	--



DAY  
6

スペーストピア スタッフがフライトについての質問などにお答えします。スペースセンターの各種の設備で、フライトの疲れと興奮を静めて下さい。  
ご家族の方も一緒にすごしていただけます。  
スペーストピア サロンにてさよなら大パーティー

DAY  
7

モハベ 発 バス  
ロス・アンゼルス 着  
ロス・アンゼルス 発 航空機

DAY  
8

成 田 着  
通関手続きの後、報道関係の記者会見

## 宇宙船内でのプログラム

地球との交信

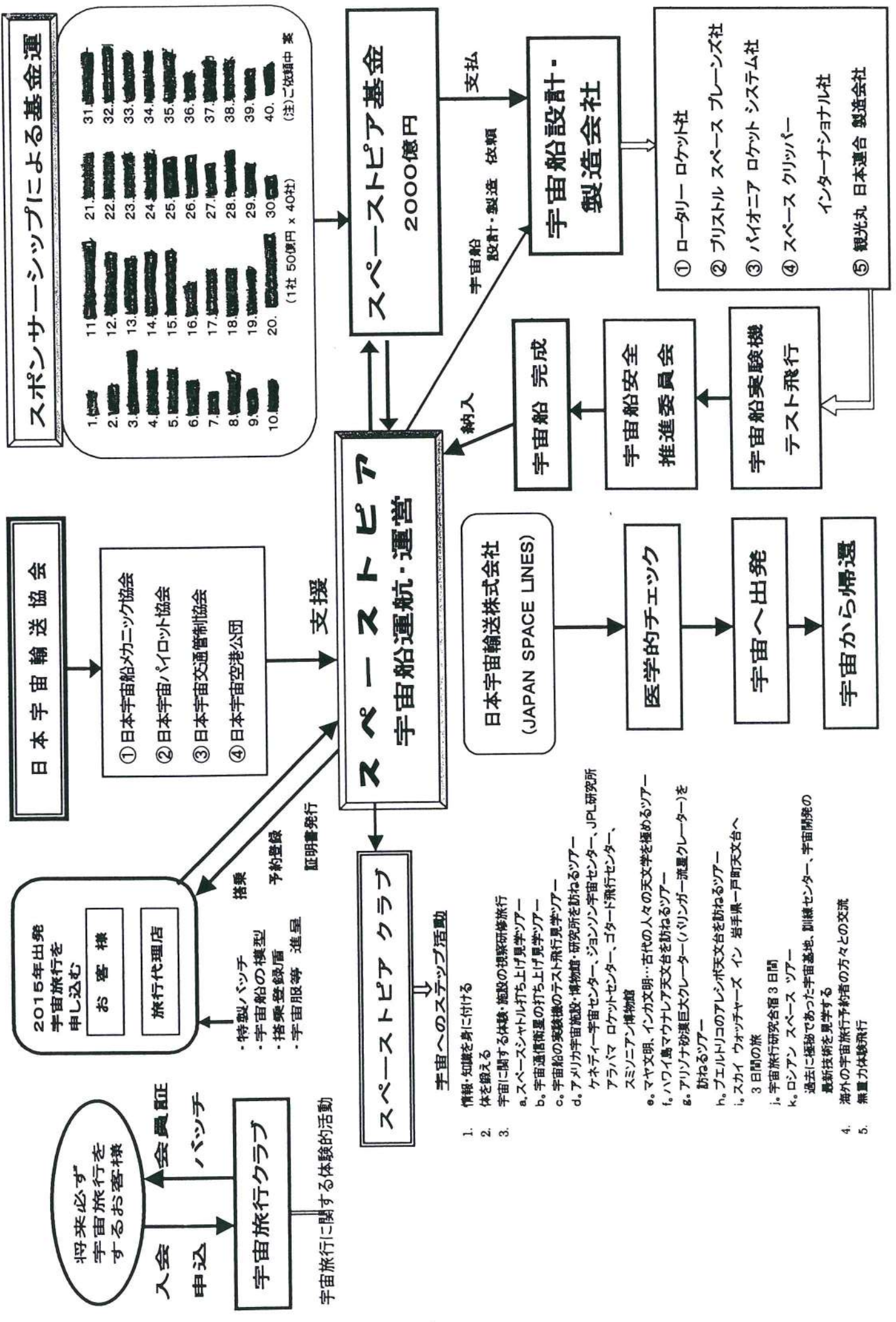
宇宙実験への参加

無重力での体験

無重力生活の楽しさを体験する

活動：飲むこと、食べること、家具／道具を使うこと、水を片づけること、椅子、  
ベッド、本／雑誌／新聞、ヘア・ドライヤー  
おもちゃ：飛ぶもの、独楽、水、鳥  
体育、ボールゲーム、レース、ドラマ(テレビ会社)  
服を脱ぐ／着ること、手／顔を洗うこと、歯を磨くこと





### スポンサーシップによる基金運

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 1社  | 11. 1社 | 21. 1社 | 31. 1社 |
| 2. 1社  | 12. 1社 | 22. 1社 | 32. 1社 |
| 3. 1社  | 13. 1社 | 23. 1社 | 33. 1社 |
| 4. 1社  | 14. 1社 | 24. 1社 | 34. 1社 |
| 5. 1社  | 15. 1社 | 25. 1社 | 35. 1社 |
| 6. 1社  | 16. 1社 | 26. 1社 | 36. 1社 |
| 7. 1社  | 17. 1社 | 27. 1社 | 37. 1社 |
| 8. 1社  | 18. 1社 | 28. 1社 | 38. 1社 |
| 9. 1社  | 19. 1社 | 29. 1社 | 39. 1社 |
| 10. 1社 | 20. 1社 | 30. 1社 | 40. 1社 |
- (1社 50億円 x 40社) (注)ご依頼中 案

スペーストピア基金  
2000億円

宇宙船設計・製造会社

- ① ロケットリー ロケット社
- ② ブリストル スペース プレインズ社
- ③ パイオニア ロケット システム社
- ④ スペース クリッパー  
インターナショナル社
- ⑤ 観光丸 日本運合 製造会社

### 日本宇宙輸送協会

- ① 日本宇宙船メカニク協会
- ② 日本宇宙パイロロット協会
- ③ 日本宇宙交通管制協会
- ④ 日本宇宙空港公団

スペーストピア  
宇宙船運航・運営

日本宇宙輸送株式会社  
(JAPAN SPACE LINES)

医学的チェック

宇宙へ出発

宇宙から帰還

宇宙船完成

宇宙船安全  
推進委員会

宇宙船実験機  
テスト飛行

2015年出発  
宇宙旅行を  
申し込む  
お客様  
旅行代理店

- 特製バッチ
- 宇宙船の模型
- 搭乗登録盾
- 宇宙服等 進呈

将来必ず  
宇宙旅行を  
するお客様

入会  
申請  
会員証  
バッチ  
宇宙旅行クラブ

宇宙旅行に関する体験的活動

スペーストピア  
クラブ

### 宇宙へのステップ活動

1. 情報・知識を身に付ける
2. 体験を積める
3. 宇宙に関する体験・施設の視察研修旅行
  - a. スペースシャトル打ち上げ見学ツアー
  - b. 宇宙通信衛星の打ち上げ見学ツアー
  - c. 宇宙船の実験機テスト飛行見学ツアー
  - d. アメリカ宇宙施設・博物館・研究所を訪ねるツアー  
ケネディ宇宙センター、ジョンソン宇宙センター、JPL研究所  
アラバマ ロケットセンター、ゴダード飛行センター、  
スミソニアン博物館
  - e. マヤ文明、インカ文明…古代の人々の天文学を極めるツアー
  - f. ハワイ島マウナレア天文台を訪ねるツアー
  - g. アリゾナ砂漠巨大クレーター(バリンガー流星クレーター)を訪ねるツアー
  - h. フェルトロコのアレンジ天文台を訪ねるツアー
  - i. スカイ ウォッチャーズ イン 岩手県一戸町天文台へ3日間の旅
  - j. 宇宙旅行研究会 3日間
  - k. ロシアン スペース ツアー

過去に極秘であった宇宙基地、訓練センター、宇宙開発の最新技術を見学する
4. 海外の宇宙旅行予約者の方々の交流
5. 無重力体験飛行





## 夢・ロマン・冒険 旅の原点にこだわる

■株式会社 トラベルトピア  
若松立行さん・代表取締役

**大**手の旅行会社であれば、座席の仕入れも多く、大量販売・大量送客が可能。また、組織のメリットを十分に利用して大規模な店舗展開も図ることもできます。販売条件の異なる中・小の旅行会社がそれに対応するには、独創性を持った魅力あるツアー企画でお客様のニーズを積極的に掘り起こしていかなければなりません。

当社が発足した昭和47年当初は、主に航空券の販売業務がメインでした。しかし、これだけではほんとうに代理業務でしかありません。そもそも旅行代理店は切符を売るだけではなく、もっとお客さまに情報を提供し、旅を通じて感動を与えることが仕事です。そのためには、旅本来の魅力である「夢とロマンと冒険」という原点にこだわる必要があります。その意味でいえば、当社が企画・集客している「宇宙への旅」や「世界一周3千万円の旅」「南極の旅」などは、その夢の部分を具体的なツアー企画として実現したものといえます。

まず宇宙への旅ですが、この企画はアメリカの「ソサイエティ・エクスペディシ

ョン社」と提携して実施するものです。同社では、スペースシャトル計画が推し進められるなか、何年もかけてアメリカ政府や専門の宇宙科学者との討議を重ね、このプロジェクトを現実のものとししました。これにより、人類の永年の夢であった宇宙への観光旅行が実現するわけです。催行は1992年を予定。ツアー参加者は出発前にスペースセンターへ行き3日間の乗船トレーニングを受けます。その後、パシフィック・アメリカン・ラウンチ・システム社製の20人乗りの宇宙船で宇宙へ出発。大気圏外を8～12時間かけて地球を5、6周します。

船内では宇宙の大パノラマを楽しむほか、無重力状態の体験や地球との通信などを体験。参加費用は5万2千ドル（約740万円、米国への渡航費、手数料は除く）です。すでにアメリカでは、120人以上の申込があり、日本でも口コミで話題が広

がっています。

一方、世界一周の3千万円の旅。これは「自分自身の冒険旅行」です。来年1月1日に日本を出発。丸1年をかけ気の向くままに旅します。申込者は、いまのところ会社社長など4人。行き先や内容は参加者と相談しながら決めていきます。また、内容によっては価格も上下します。とはいえ、ホテルやレストランなどに費用をかけるわけではありません。人間にお金をかけるのです。例えば、選りすぐりの添乗員を付けるとともに、訪問先では高名な歴史学者、探検家など一流の人を案内役に依頼します。さらに、著名人との会見をアレンジしたり、バリならアラン・ドロンとの食事なども考えています。並の旅行では絶対味わえない演出に工夫を凝らしており、これまでわたしが旅行業に係わってきた総決算の気持ちで取り組んでいます。

南極の旅は、16日間にわたる豪華クルーズとなります。利用する船はワールド・デスカバラー号で、シャワーやトイレはもちろん、エアコン、電話、美容室など快適な施設が揃っています。さらに船内では、動物・植物・地質学等の専門家のレクチャーも行なわれます。

こうしたツアーの企画の際、基本となることは、まず「自分がどれだけおもしろさを感じられるか」ということです。いうまでもなく、旅する人間が主体となるものですから、心の問題として捉えなければいけません。企画している本人が楽しく感じられないのに、豪華さだけをいくら強調しても話になりません。むしろ、明確なテーマ性を持ったツアーづくりが求められています。







若松 立行  
株式会社トラベルトピア  
代表取締役  
昭和19年年4月30日生れ・拓殖大学貿易学科卒  
在学中、アメリカ・メキシコを2年間放浪  
マンションメーカーを経て昭和47年1月、株式  
会社トラベルトピア設立



# 150億円の金塊を埋める！ 四百年間生き続ける観光企画に挑戦中！

「ガラパゴス諸島への旅  
”南極への旅”北極点に  
到達する旅”クジラを求め  
てバハカリフォルニアへの  
旅”。20年前、海外渡航者  
総数が139万人だったこ  
ろ、もうすでに秘境ツアー  
なるものを企画した人間が  
いた。彼のアイデアの源は  
ロマンと冒険。常に新しい  
ということ。非日常を体験  
できること。すべての企画  
はそこからスタートする。

一人1億5千万円という  
途方もないツアーを企画し  
た。ツアー期間は7年間、旅  
行範囲は地球上という広大  
なものだ。渡航回数は協議  
の上決定する。例えば、世界

67か国のお祭り、結婚式、民  
俗儀式を焦点に、7年間で  
巡り、探究し、その記録、研  
究論文を日、英語で出版す  
る。ビジネスとして採算  
ベースにも乗せ、数人の本  
当の夢を実現させた。87年  
には”宇宙への旅”を募集し  
た。費用は2週間で1人8  
60万円。20人乗り宇宙船  
フェニックスE号に乗り、  
大気圏外から12時間ほど地  
球を眺め、科学実験やビデ  
オ撮影等を行うというも  
の。7000人が応募、最終的  
に14人の予約を受け付けた  
が、資金面で保留になり延  
期を余儀なくされた。

他にも、ヨーロッパ貴族  
社会のルールや立ち居振る  
舞いを学び、気品やスタイ  
ルを身に付ける”男を磨く  
ツアー”を数百万円という  
価格で企画した。このツ  
アーはイギリス、イタリア  
を始め、シリーズで催行さ  
れている。また、10年にま  
たがり、三蔵法師の足跡を  
巡るツアーというの、現  
在参加者を募集中。彼の企  
画が夢だけに留まらないの  
は、実現のための綿密な計  
算があるからなのだ。

そんな彼が15年ほど前か  
ら企画・構想し、暖めてい  
るツアーがある。世界5大  
陸に150億円の金塊を  
隠し、宝捜しのヒントが隠  
されたシナリオを若松氏自  
身が執筆し、それをそのま  
まツアーに参加するキッカ  
ケにするというもの。その  
名も”宝島ツアー”。今まで  
にも単に思いつきでしかな  
かった内容を、次々にツ  
アーとして成功させてきた  
が、15年もの間実現できな  
いでいるのは大きな理由  
がある。「今、金属を地中  
に埋めてもランドサットで  
簡単に発見されてしまうん  
ですよ。センサーをプロッ  
クする機械でも発明されな  
い限り、この企画は実現し  
ない。今僕はしびれを切ら  
して待っているところなん  
です。」

やがて彼の書いたシナリ  
オが全世界で翻訳され、世  
界中の人々が宝を捜しに訪  
れる。金塊は1000年や2  
000年探した位では見つか  
らない：例えば400年  
後、宝の発見が世界のトッ  
プニュースとして報じられ  
るかも知れない。「400  
年、500年、世代から次  
の世代へと受け継がれ続け  
る。そんな企画を追い求め  
たい。」と若松氏は語る。

思えば、いまだ語り継が  
れる武田信玄の隠し金山  
や、ソロモン王の秘宝にも  
似た、そんな計り知れない  
大きなスケールを持った観  
光企画マンがここにいた。



秘境から宇宙までの旅の“仕掛人”

若松立行

トラベルトピア社長



拓殖大学時代、二年間休学しアメリカとメキシコを遊学して回った。そこで日本企業で現地採用として働くなど、数多くの経験を重ねていく。そのことが若松立行氏の原点になっているという。現在四十三歳。

約二年半、会社勤めの後脱サラ。四十七年に旅行代理店のトラベルトピアを設立した。  
「宝石か不動産か旅行を扱う仕事をしようと考えました。その中でも、資金のかららないものというので旅行を選んだんです。この時から、人のやらないことをやりたいと思っていましたよ」

若松氏が手がけるツアーはなんともユニークなもの

が多い。「ガラパゴス諸島を訪ねる旅」「南極への旅」「北極点に到達する旅」「くじらを求めてバハ・カリフォルニアへの旅」など秘境もののはしりである。「旅の魅力はロマンと冒険ですよ」

このことをテーマに、旅を提供し続け、着実にコマースベースに乗せていく。当初はアメリカの会社と提携し、世界各国の人々と一緒にツアーが楽しめた。これも好評の一つだった。

そして、地球だけでなく宇宙へ目を向けた若松氏。宇宙船に乗り大気圏外に飛び出して、地球を数周する「宇宙への旅」を売り出した。第一陣は五年後の一九

九二年に出発する予定だ。「日本人は冒険というところから、体をいじめるようなものを考えがちですよ。宇宙の神が司っているでしょうもない部分に挑戦しているような。そうではなくて、真の冒険というのは宇宙に触れる、宇宙に委ねる、宇宙の愛を受け入れるということだと思っています」

冒険には宗教的な意味があり、突き詰めていけば、死を知ることだと淡々と語る。若松氏自ら五年後の宇宙への第一便に乗り込む。「宇宙へ行くまでの五年間しか、自分の人生がないと思ってやっているんです」そう考えることにより、仕事、人への対応それぞれが真剣勝負だ。また、「宇宙への旅」を人々のロマンと冒険のためだけでなく、世界平和へ貢献できたらと考えている。「地球の平和は政治家の手に委ねられています。だから、二十人乗りの宇宙船に

ここに人ありき

新事業に賭けるラグビー部長

澤井新一郎

三洋電機常務



「大きな流れとして、経済のソフト化が進行する。製造業であっても三次産業や四次産業に目を向けなければ」  
三洋電機常務の澤井新一郎

みたいと、若松氏は真剣に考えている。

また、「自分自身の冒険旅行」と名づけ、世界一周三千万円の旅を企画した。ホテルや乗り物に費用をかけるのではなく、旅先で選りすぐった添乗員をつけたリ、著名人との会見をプロデュースする。

「人間との出会い、その時の感動ですよ」

これまでなかったような旅をビジネスにしていく才に脱帽。

さんは語る。この秋に新設された事業開発本部の初代の本部長を務めている。物流の合理化、営業拠点の見直し、社有地の有効活用に取り組み外、関連会社のファーストフード、自動車整備、旅行などの事業を統括している。とくに、ファーストフードは大手外食チェーンのフランチャイズとして加入し、関東

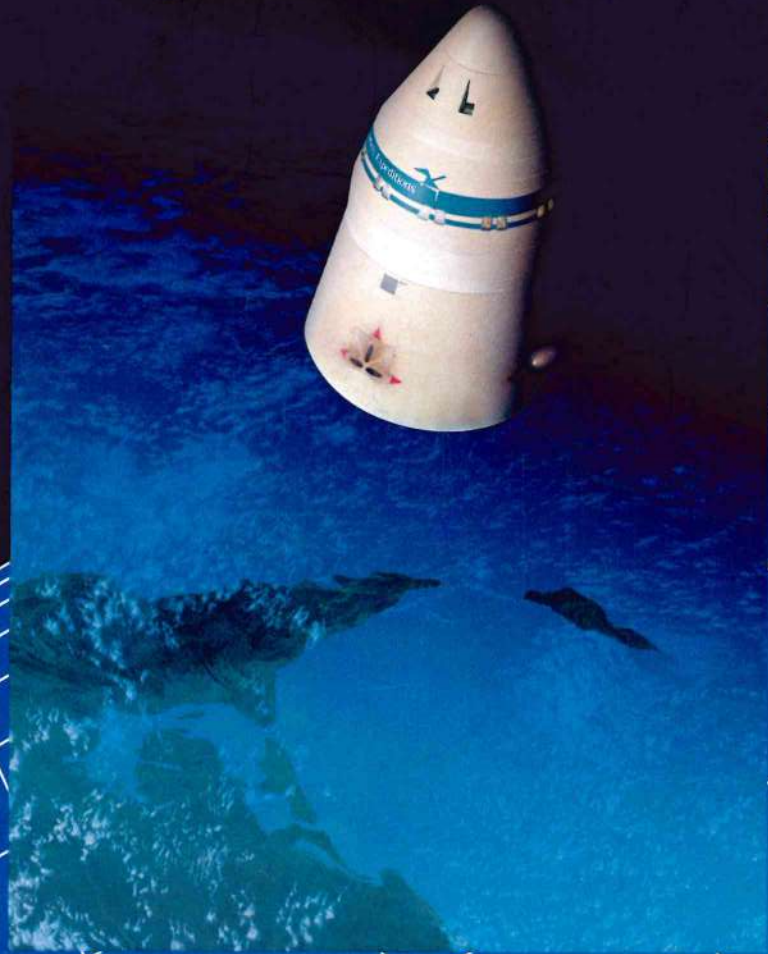


# PROJECT ▼ SPACE ▼ VOYAGE

1986年5月1日

*"We've been passengers on this earth long enough,  
isn't it about time we looked around for another view?"*

Wernher Von Braun



Introducing the reality of space tourism.  
The incomparable journey of a lifetime.  
From the pioneers in passenger space  
travel, Society Expeditions Space Travel  
Company.

Departures beginning October 12, 1992

**Society Expeditions**  
SPACE TRAVEL COMPANY





## See Earth from a Different Perspective

**PROJECT SPACE VOYAGE** orbits will follow a high-inclination path developed to show you stunning new views during 5 to 8 orbits of the Earth. You will travel with space experts, astronauts, medical and technical personnel. You will also assist them in conducting scientific experiments.

Explore the overwhelming excitement of space travel as our first astronauts did. And experience the rare panoramic views of the earth, as well as an exhilarating and dramatic takeoff and landing.

Your space flight lasts 8 to 12 hours aboard one of several specially developed 20-passenger, 5-crew-member spaceships. The first in this fleet of cost-effective spacecraft is the "Explorer," being built by American Space Corporation, a Washington-based company who will have major aerospace corporations produce the spaceships' major components.

"Explorer's" flight-testing timetable is set to begin in the early 1990s, and will meet exacting standards to be detailed by the Office of Commercial Space Transportation, U.S. Department of Transportation.

Our flights leave once a week in 1992, with the **PROJECT SPACE VOYAGE** flight schedule increasing each year based upon delivery of additional spaceships.

In accordance with the Commercial Space Act of 1984 Society Expeditions' **PROJECT SPACE VOYAGE** plans to launch the spaceship from existing U.S. government launch sites.

### Training Center and Resort Complex

A special Resort and Training Center complex is being developed near the U.S. launch site which will serve both as a luxury recreation center and a training/debriefing facility. At this educational center, qualified aerospace professionals will brief and instruct you on the many facets of your upcoming voyage. This is an opportune time to ask questions and learn about space exploration. A variety of daily fitness programs will be offered to help prepare you mentally and physically for your journey to the "stars."

Could you be one of our "typical" passengers? Of course! Society Expeditions Space Travel Company has already accepted hundreds of reservations from individuals from virtually all walks of life and in dozens of countries who want to be among our space pioneers. Their common thread—to meet a new challenge... to achieve... to succeed.

If your dream is to make space travel a reality in your life, the time has come to fulfill your dream.

T.C. Swartz  
Founder and President  
Society Expeditions Space Travel Company



## Dear Space Explorer,

What is it like to journey into space?

The thrill and awe-inspiring emotion of orbiting Earth can really be yours to live first-hand. Imagine seeing the Earth, its curvature, continents, oceans, countries, lights, even atmospheric conditions, all from an entirely different view.

Society Expeditions' **PROJECT SPACE VOYAGE** is the world's first public-access space program, opening this great experience to people like you and me. It was born from the concept that space belongs to everyone in every country. Join us for your chance to orbit Earth in a spaceship specially designed for passengers—truly a one-of-a-kind adventure, offered exclusively by Society Expeditions Space Travel Company (STC), a subsidiary of Society Expeditions, Inc.

**PROJECT SPACE VOYAGE** is the result of intensive research and development with aerospace experts and advisors from political and engineering backgrounds, several of whom were instrumental in the development of the U.S. Space Shuttle.

We begin our history-making departures on October 12, 1992, the 500th anniversary of the discovery of the New World by Christopher Columbus. Passengers travel in one of our "Explorer" fleet spaceships being developed by American Space Corporation. Although all our 1992 departures currently are booked, we are accepting reservations for weekly flights in 1993 and beyond.

**PROJECT SPACE VOYAGE** is a private program which follows a new direction for space development set by President Reagan in January 1984. He asked America's entrepreneurs and corporations to lead the way into the future of space. The challenge is ours.

Society Expeditions Space Travel Company has become the private-sector leader in setting up a global network of expertise and support services for manned space voyages. We are the first company to work with a private organization developing a reusable spaceship for passenger flights. We are the world's first commercial customer for such spacecraft. And we are setting the standard as the world's first company to offer commercial space flights to the public.

The Society Expeditions' name has always been a company associated with firsts in offering unique travel journeys to remote corners of the world. So it comes as no surprise that space travel would be Society Expeditions' next new frontier.



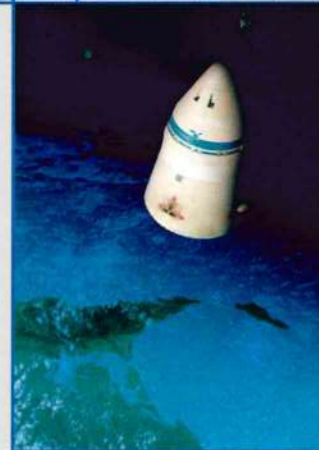
Society Expeditions is committed to nurturing education, conservation and scientific research. At Society, we believe in academic excellence through experience, exchanged by experts... to you. We do this by stimulating historical interests, supporting museums and working laboratories all around the world.

We were the first to develop a fleet of expedition ships offering true worldwide expedition cruises; the first to Saudi Arabia; and the first passenger ship allowed into Burma. We're also the only travel organization offering: unique trips to both the North Pole and Antarctica; expedition ships to remote places staffed with on-board scientists; private luxury-train journeys through China and Siberia; and the only firm to have completed successfully a passenger ship crossing of the

## Travel with Experienced Leaders

Society Expeditions, Inc. is recognized as one of the world's most creative travel organizations.

Since 1974, Society Expeditions has developed and conducted unique travel adventures to remote parts of the world on every continent including Antarctica. We continue to create expeditions unduplicated by others and are constantly researching new journeys.



## Our Dream of Space Flight

Since the Wright Brothers gave us the hope to escape our worldly bounds, man has imagined what space might hold for us. Years later, astronauts traveled in space... and still others actually stood on the Moon. Today, a new generation of spaceships and technology moves man and machine into space.

With **PROJECT SPACE VOYAGE**, Society Expeditions Space Travel Company (STC) has taken on its most exciting traveling challenge: To make space travel available to the global public. Plans call for STC to carry as many as 5,000 people a year into space by 1997. Our goal is to make space travel as simple and reliable as present commercial air travel.





## Are You the Typical Space Explorer?

**PROJECT SPACE VOYAGE** is for the voyager, the seeker, the curious and the adventurous.

Requirements are simple. Passengers must be in average physical condition, as would be necessary for an overseas jet trip.

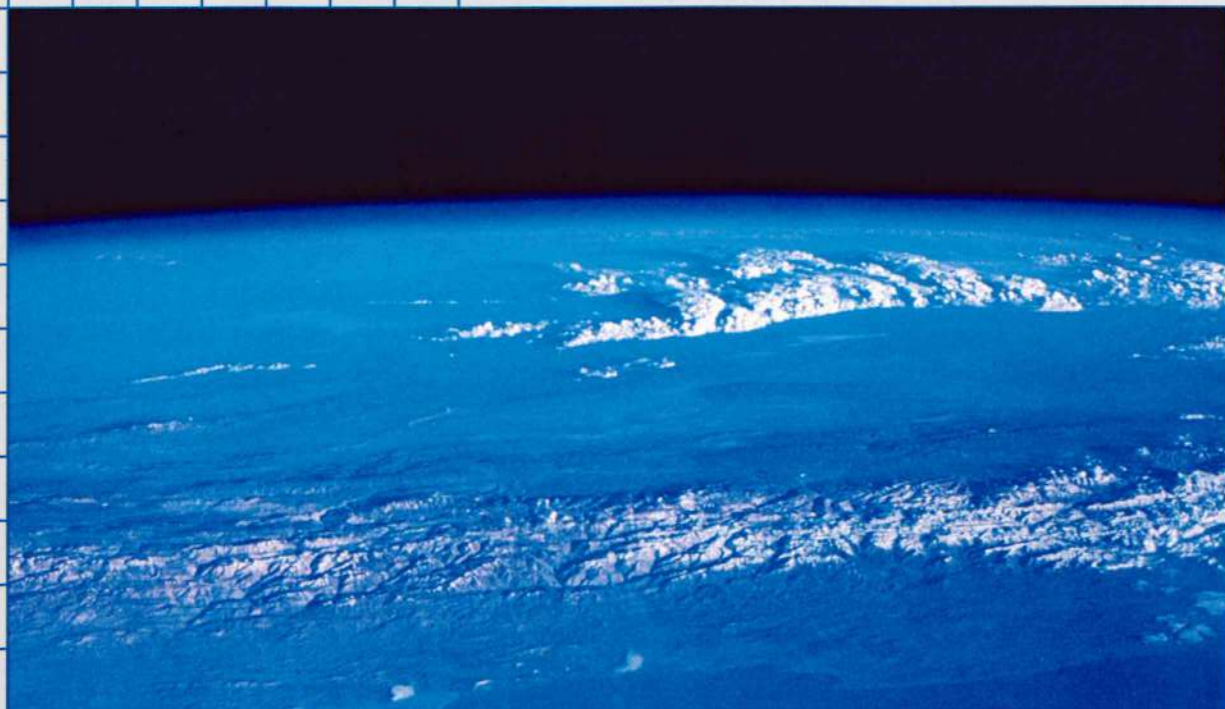
As in all Society Expeditions programs, **PROJECT SPACE VOYAGE** makes you an active participant in the adventure. Living not on the sidelines but as an interested explorer.



You, as an elite **PROJECT SPACE VOYAGE** Member, will find professional experts acting as your expedition leaders, pointing out landmarks on Earth, explaining atmospheric conditions and acquainting you with onboard facilities.

The 8 to 12 hour flight schedule allows you sufficient time to experience space travel, without the rigorous preparation associated with long space voyages.

*Space experts and former astronauts will prepare you for your flight and explain the history of the U.S. Space Program.*



## An Accomplished Board of Advisors Guides Our Direction

Society Expeditions Space Travel Company receives technical and directional support for the challenging **PROJECT SPACE VOYAGE** from a wide range of experts in aerospace and its related industries. Our professional guidance includes an exceptional Board of Advisors:

**Maxwell W. Hunter II, (1)** chairman of the Board of Advisors. One of the world's foremost experts in space rocketry, and often ahead of his time. He was instrumental in the development of the aerodynamic design of many missiles while at Douglas Aircraft Company (presently McDonnell Douglas), as well as headed up projects including the Thor, Nike-Zeus, the overall design for the Douglas space booster Delta and Saturn SIV booster stage. He advised Presidents John F. Kennedy and Lyndon B. Johnson on space programs and helped formulate national space policy. During his tenure at Lockheed Missiles and Space Company, Inc., Hunter originated the concept of using large expendable tanks carrying the fuel for the space shuttle. He is actively involved in the formulation of future space transportation.

**T.C. Swartz, (2)** president, Society Expeditions, Inc. The entrepreneur and founder of Society Expeditions, Society Expeditions Space Travel Company and American Space Corporation. Swartz is a conservationist, explorer and visionary who has developed the conglomerates, multi-faceted expedition cruises, rail, air & space travel adventures. And he is the originator of **PROJECT SPACE VOYAGE**.

**George E. Mueller, Ph.D., (3)** president of the International Academy of Astronautics. Dr. Mueller, formerly president and chairman of Systems Development Corp. and assistant administrator of NASA, was responsible for the U.S. manned space flight programs from Gemini to Apollo II (1963 to 1970).

**David C. Webb, Ph.D., (4)** is a presidential appointee to the National Commission on Space that has published an official report on space to the president. He is an analyst and considered one of the world's foremost consultants on commercial space development.

**Brian T. O'Leary, Ph.D., (5)** senior scientist, Space Applications International Corp., is a former NASA scientist-astronaut. He is an established author and futurist who has concentrated his energy on visionary concepts for space.

**Peter Voll, (6)** director of Stanford Alumni Association Travel/Study Programs since 1974, specializes in innovative and educational group travel. He has developed and operated over 200 custom itineraries around the globe for Stanford Alumni groups and has produced and directed documentaries, slides and video presentations for the university's alumni travel programs.

**Byron K. Lichtenberg, (7)** president, Payload Systems, Inc., is a former astronaut/payload specialist who has flown on the Shuttle Columbia.

**Leonard W. David, (8)** editor-in-chief, Space World magazine, has been a consultant to the Office of Technology Assessment on space issues. He was the director of research for the National Commission on Space and presidential commission to recommend future U.S. space policy.

**Michael Engle, (9)** president, Payload Systems International, is involved in Space Shuttle payload integration, flight-crew training and payload support at the Johnson Space Center.

**Richard Dowling, (10)** president, Space/Media, Inc. is a leader in the production of space-related media. He has produced space-related documentary materials for a broad range of space activities.

**Charles M. Chafer, (11)** vice president, marketing, Space Services, Inc., is instrumental in the marketing of low cost space systems and spacecraft.

**Barry J. Linder, M.D., (12)** resident in ophthalmology, Washington University Medical Center, St. Louis, Missouri. Dr. Linder served as visiting scientist to the Johnson Space Center in Houston in the University's Space Research Division of Space Biomedicine, specializing in studies related to space motion sickness syndrome. Nominated to the NASA advisory panel for the Space Station.

**Paul Sipiera, (13)** Associate Professor of Geology and Astronomy, William Rainey Harper College, Palatine, Illinois. Field Scientist, United States Antarctic Research Program, Antarctic Search for Meteorite Project. Research Associate Chicago Field Museum of Natural History. Co-Director of Meteorite Search Program. His research interests include meteorites, moon rocks and volcanoes.



# Project Space Voyage Itinerary

Weekly flights beginning October 12, 1992.

Due to the advanced nature of this expedition, the timetable, activities and other aspects are subject to change. Our newsletter, "Countdown," updates passengers on the latest details available. Orientation materials will be distributed to passengers one year prior to the flight.

## Pre-Flight Activities (Day 1)

You arrive at the Society Expeditions' Resort and Training Center in the late afternoon, and relax as you prepare for your three-day orientation program, which begins tomorrow. All training and safety programs will be under the combined auspices of Society Expeditions Space Travel Company, its advisors and American Space Corporation.

## (Days 2, 3 and 4)

1. Preflight briefings and orientations delivered by Society Expeditions' staff and advisors.
2. Study of passenger Flight Manual.
3. Orientation and familiarization of cabin mockup.
4. Leisure time available for resort facilities.
5. Audiovisual orientation of expedition; review of spaceship's log from previous voyages.

## Flight Scenario (Day 5)

Arrive at the launch complex at 7 a.m., one hour prior to launch. Enter the cabin via the "jetway" ramp, and take your pre-assigned seat by one of the windows. During your memorable 8 to 12 hour flight, expect to participate in the following activities:

1. Launch at 8 a.m., including video observations of liftoff and the crew at work in the Pilot Module.
2. Increase in sound levels inside the cabin and an increase in G (gravity) forces as the ship's engines develop their maximum thrust for orbit insertion.
3. Decrease in sound levels at 100,000 feet as vehicle enters the fringes of space. Video observations made available of Earth, crew and spaceship performance.
4. Sky darkens rapidly as passengers experience a maximum of three G's for several minutes.
5. Orbit insertion at 1,000 miles downrange and seven minutes into flight, followed by engine shutdown and zero G.
6. Adjust to weightless space environment.
7. Familiarization with health and safety procedures; ground rules, in-flight facilities; use of technical equipment; Earth feature identification, space-object identification, technical details of the flight.
8. Brief engine restart for final insertion into orbit.

## 8 to 12 Hours in Orbit

The next hours are a space odyssey beyond the imagination. You will participate in:

1. Observing space, Earth's horizon and the planet itself, while you move from sunrise to sunset.
2. Observation programs, briefings, lectures and scientific experiments conducted by our on-board space experts.
3. Updating spaceship performance; details of the spaceship orbit; continual updates of the location of the spaceship along the orbit track.
4. Continuous monitoring of communications with Earth.
5. Photographic opportunities.
6. Experiences of living in space, weightlessness, eating two meals and conversing with colleagues during the voyage.

## Re-Entry and Landing

Re-entry and landing preparations begin with a retrofire burn halfway across the earth, and one hour away from the landing site. Key events include:

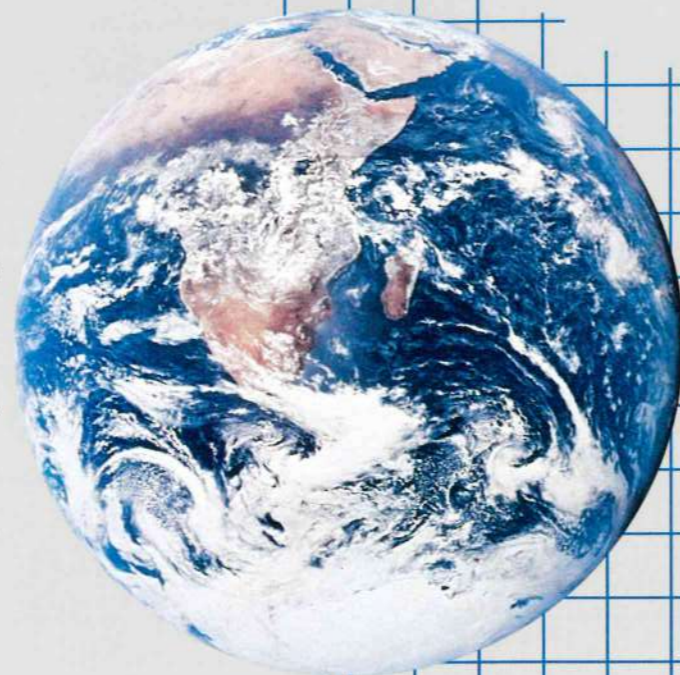
1. Re-enter Earth's atmosphere 30 minutes later.
2. Build up of three G force for approximately five minutes; a pink haze can be seen outside window.
3. Entry phase ends at 170,000 feet altitude; landing phase begins as thrusters fire and final course corrections are made for landing site.
4. Gliding phase and video of Earth.
5. Engine re-ignition and gear is extended; landing.

## Post-Flight Phase (Day 6)

During the next two days, Society Expeditions staff will answer any additional questions you may have concerning your flight. Spend some relaxing time by enjoying the resort and health spa facilities. Family members or friends who are not flight participants may join you at the resort.

## (Day 7)

Today, you depart for home.



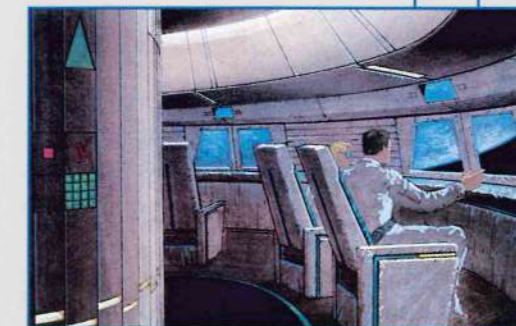
## Aircraft Comfort Inside the Spaceship

Society Expeditions Space Travel Company's spaceships will accommodate 20 passengers and 5 crew members on each flight in the first-class comfort of an airliner. The vehicle will meet all safety requirements necessary for a passenger rating as established by the Department of Transportation's Office of Commercial Space Transportation.

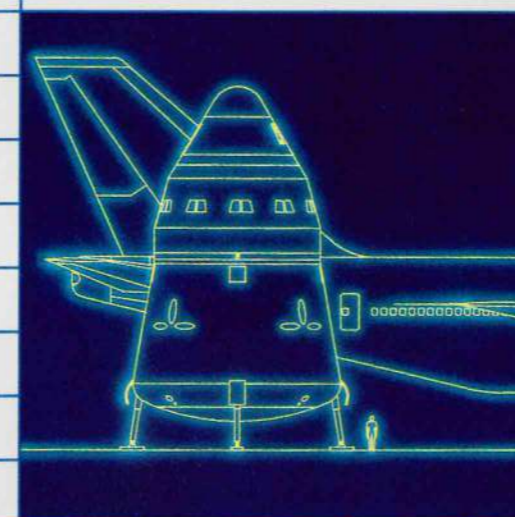
The spaceship stands nearly as tall as a 747's tail—57 feet—and has a Pilot Module for the flight crew and a passenger cabin.

You board the vehicle as you would a jet aircraft. Once inside, you live in a comfortable shirt-sleeve working environment completely outfitted for space travel. The 20-foot-wide cabin is wider than that of a jumbo jet. You can either choose to remain strapped in your seat during "zero G" or get up and float about to experience weightlessness.

All necessary gear will be provided and issued during orientation. This includes custom-made flight suits (yours to keep to commemorate your voyage); foot gear; a bag for personal items designed to be worn with your flight suit, and other equipment.



Specially designed padded, reclining seats allow you to enjoy the forces of acceleration during launch. Electronic displays above each seat offer information on flight progress, as well as providing various optional views of the flight deck and points in space. A private lavatory is on board for your comfort. You have your own window to view the flight and record the trip with spectacular photographs. And fine dining becomes an integral part of your experience, so you'll relish the variety of two complete meals during your voyage.



Space experts will prepare you for your flight and explain the history of the U.S. Space Program.





# Reservations Now Accepted

Society Expeditions Space Travel Company, Inc., hereafter referred to as STC, a Washington Corporation, is accepting reservations from individuals interested in PROJECT SPACE VOYAGE.

Flights are scheduled weekly beginning October 1992. Reservations are accepted in order of receipt, on a first-come, first-served basis. To reserve your flight, follow these steps:

1. Documentation information. Please provide your full name, address, telephone number, date of birth, occupation, height and weight.

2. Preferred launch date. Flights are planned to operate weekly, on a year-round basis. You will be offered a reservation on the first available flight closest to your requested date.

3. Payment. Make out a check for US \$200 payable to Society Expeditions Space Travel Company to cover your Registration and Documentation Fee. Make out a second check for US \$5000 to PROJECT SPACE VOYAGE ESCROW ACCOUNT. The escrow account is with a major national bank. You will be advised of details concerning the escrow account upon receipt of your reservation.

4. Mail the documentation information, launch-date request and the two checks to: Society Expeditions Space Travel Company, Inc., Society Expeditions Building, 3131 Elliott Avenue, Suite 700, Seattle, Washington, 98121 USA.

Within four weeks you will receive:

1. Your official PROJECT SPACE VOYAGE registration certificate with your priority number, flight number and expected departure date.

2. Documentation and information packet.

3. Recommended reading and preparation.

4. A copy of an escrow agreement covering the terms of your escrowed \$5000 deposit.

5. Additional information as appropriate.

6. A current copy of the PROJECT SPACE VOYAGE "Countdown" newsletter.

## Conditions

**Reservations:** Reservations can be made by following the procedures described above. You may make reservations for specific third parties. Reservations are confirmed only upon receipt of the \$200 Registration fee and the \$5000 Escrowed Deposit indicated above.

**Final Payment:** Final Payment is payable to the escrow account one year prior to departure and is refundable in case of cancellation as described in the Cancellations and Refunds paragraph.

**Cancellations and Refunds:** In case of cancellation more than one year prior to departure, the \$5000 escrowed deposit is fully refundable upon written request of the passenger and the return of the documents and reservation certificates you have received. If cancellation is made less than one year before flight, the \$5000 Escrowed Deposit is forfeited as cancellation fee; if less than six months prior to departure, 50% of the cost of the project is forfeited; and if less than 3 months prior to departure, 100% of the cost of the project is forfeited as cancellation fee. The \$200 Registration Fee made at time of booking is not refundable.

**Health Notice:** These expeditions are intended for persons in reasonably good health and without physical disabilities which would create a hazard either for the passenger or other passengers. By forwarding of the deposit for passage, the passenger certifies that he/she does not have any physical or other condition of disability that would create a hazard for him/herself or other passengers. STC, Inc., reserves

the right to decline to accept or retain any person or member of any expeditions should such person's health, actions or general deportment impede the operation of the expedition or the rights or welfare or enjoyment of other members of the expedition.

**Responsibility:** STC, Inc., acts only as agent for the suppliers and contractors providing transportation and/or all other related travel services and assumes no other responsibility however caused for personal injury, personal or property loss or damage in connection with any service. Due to the extended planning time of the PROJECT SPACE VOYAGES, delays in launch date may occur, and STC will not be held responsible for these delays. In case of cancellation and with no other rescheduled date offered to the passenger within one year of the original confirmation, then the passenger at his option may immediately be refunded all payments made for the PROJECT SPACE VOYAGE except the \$200 Registration Fee. Reasonable changes in the itinerary may be made where necessary or deemed advisable for the comfort and well-being of the passenger. All passengers on trips and expeditions operated by STC recognize that circumstances over which STC has no control or Acts of God, and in case of such circumstances, it is recognized and agreed that STC shall not be liable to passengers but only shall be liable for specific acts of negligence on the part of STC or its agents. On advancement of deposit to STC, the depositor therefore agrees to be bound by the terms and conditions here mentioned.

**GUARANTEED REFUND UPON DEMAND. UNDER ANY CIRCUMSTANCES, PRIOR TO ONE YEAR BEFORE DEPARTURE, YOU WILL BE REFUNDED YOUR ESCROWED DEPOSIT OF \$5000 FOR WHATEVER REASON UPON YOUR WRITTEN CONFIRMATION THAT YOU WISH TO CANCEL YOUR RESERVATION AND WISH TO BE REFUNDED.** If for any reason STC, Inc. cancels the flight without offering an alternative date within one year of the original confirmation, you have the option of receiving all Escrowed Deposits you have made, or retaining your priority number by applying your deposit to the first available flight.

## Expedition Features

**Space Flight:** The fare includes transportation from launch site to low earth orbit and return by manned spaceship, certified and passenger-rated by the appropriate authorities. The flight includes meal service as appropriate, and seats with a window view.

**Expedition Leaders:** You are accompanied during the flight by at least two staff members specially trained in space travel and safety. (In addition to the flight crew of three.)

**Hotel (pre- and post-flight):** You will be accommodated at a specially prepared resort where your orientation takes place.

**Meals:** All meals (breakfast, lunch and dinner) are included on an a la carte basis during the orientation and training program before and after the flight.

**Lectures and Orientation:** All briefings, training and preparations by accompanying experts, astronauts and expedition leaders are included.

**Orientation Manuals, Preparation Materials:** All appropriate references, manuals and preparatory materials are included.

**Expedition Clothing and Gear:** Appropriate clothing for the flight will be provided, including a specially designed flight suit, special sunglasses, footwear, log and amenities.

**Transfers:** Group transfers will be provided from the space resort and lodge to the launch site and return.

Cost of PROJECT SPACE VOYAGE:	\$50,000
Accommodation and Training:	\$ 2,000
Registration and Documentation Fee:	\$ 200

Society Expeditions Space Travel Company, Inc.  
© Copyright 1986, All Rights Reserved.

## Society Expeditions: The World Leader in Expedition Travel

### Expedition Cruises

Aleutians/Alaska  
Amazon  
Antarctica  
Australia/New Zealand  
Caribbean/Orinoco  
Greenland/Canadian Arctic

Korea/Japan  
Indonesia  
Micronesia  
Northwest Passage  
Patagonia/Chilean Fjords  
Pacific Northwest

### Luxury Rail Journeys

China: Imperial Peking Express  
Nostalgic-Istanbul Orient Express  
Paris to Peking Express  
Trans-Siberian Special

### Land Expeditions

Around the World by Luxury Jet  
Space on Earth: The U.S. Space Program



## Society Expeditions Space Travel Company, Inc.

a Subsidiary of Society Expeditions, Inc.

Society Expeditions Building  
3131 Elliott Avenue, Suite 700  
Seattle, Washington 98121 USA

206-285-9400  
Reservations: 800-426-7794  
Telex: 244-83ISOEX

Effective May 1, 1986

International and national trademark rights applied for.

Promotional use of PROJECT SPACE VOYAGE or any materials in this brochure is strictly prohibited without express prior written consent of Society Expeditions Space Travel Company, Inc.



# NASA

# スペースキャンプ

## 飛ぶ日を夢見て...

【みどころ】

### ● スミソニアン博物館

1846年ワシントンに設立された特殊学術機関。内部は博物学博物館、歴史技術博物館、航空宇宙博物館に分かれている。  
リンドバーグの乗ったスピリット・オブ・セントルイス号から最近の宇宙ロケット、月着陸船など展示されている航空宇宙博物館は最大の呼びもの。大スクリーンの劇場やスペーサリウム(宇宙館)もある。

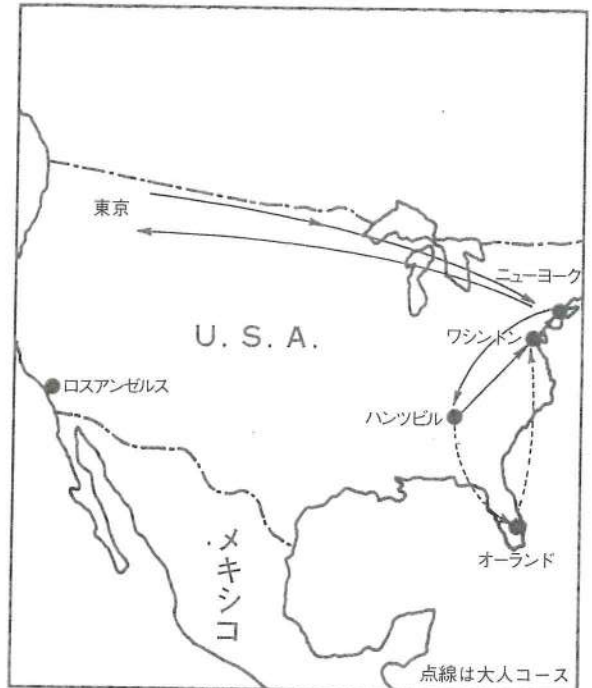
### ● ラングレー研究センター

NASA最古といわれる施設。月の石、アポロ12号の司令船、マーキュリーのカプセルなど見学できる宇宙ギャラリーと、ライト兄弟の飛行機から現代の最新鋭航空機までの発達をたどることができる“エボリューション・オブ・エアクラフト”というタイトルの展示が見られる。

### ● ウォルトディズニーワールド内エピコットセンター

実験的な未来のモデル社会を追求する壮大なプロジェクトを展示。  
「未来の世界」では、「宇宙船地球号」をはじめ、科学技術の進歩と発展を予想させる、夢あふれるパビリオンがいくつも並んでいる。

8月 1985年



## 1985年・夏・宇宙体験 NASAスペースキャンプ

期間／昭和60年8月17(土)～8月27日(火)11日間

募集人員／30名

参加費用／大人、子どもとも  
お一人様 **¥860.000—**

### 【参加費用に含まれるもの】

全行程航空運賃、宿泊料金(2人1部屋使用)、送迎費、観光費、全食事代(大人プログラムは昼食1回を除く)、空港税、諸団体経費、マーシャル宇宙飛行センター入場料、  
子供向けプログラム：スペースキャンプ参加費用  
大人向けプログラム：アラバマ宇宙ロケットセンター、ウォルト・ディズニーワールド内エピコットセンター、J・F・ケネディ宇宙センター入場料。

### 【参加費用に含まれないもの】

お一人様部屋使用の場合の追加料金、  
旅行中の個人的費用、旅行傷害保険料、渡航手続諸経費、  
成田新東京国際空港旅客施設使用料(大人2000円、12歳未満1000円)、  
超過手荷物料金、ご自宅～成田空港往復交通費。

※参加人員がスペースキャンプ・プログラム催行人員に満たない場合は、NASAの都合によりプログラムを変更または中止することがあります。また、昭和60年旅行実施までに関係諸機関の料金変更があった場合は、参加費用を改訂することがありますので、予めご了承下さい。

### ＜わずかな頭金で海外旅行＞

ローンをご利用になれば、たとえば頭金10万円で月々3～4万円の24回払いも可能。返済はご予算に合わせてマイプラン。詳しくは弊社まで。

### ■ スケジュール(昭和60年度)

日次	月 日	都 市	摘 要
1	8/17 (土)	成 田 ニ ュ ー ヨ ー ク	空路ニューヨークへ 着後ホテルへ (ニューヨーク泊)
2	8/18 (日)	ニ ュ ー ヨ ー ク ハ ン ツ ビ ル	空路アラバマ州ハンツビルへ 着後「マーシャル宇宙飛行センター」 (ハンツビル泊)
3	8/19 (月)	ハ ン ツ ビ ル NASA	スペースキャンプ参加 大人は「アラバマ宇宙ロケットセンター」
4	8/20 (火)	ア ラ バ マ	見学後、オーランドのウォルト・ディズニ
5	8/21 (水)	ウ ヲ 宇 宙 ロ ケ ッ ト	ーワールド内エピコットセンター、J.F.ケ
6	8/22 (木)	セ ン タ ー	ネディ宇宙センターを見学する別スケジ
7	8/23 (金)		ュールです。
8	8/24 (土)	ハ ン ツ ビ ル ワ シ ン ト ン D.C.	空路ワシントンD.C.へ 午後スミソニアン博物館見学 (ワシントンD.C.泊)
9	8/25 (日)	ワ シ ン ト ン D.C.	ラングレー研究センター見学 (ワシントンD.C.泊)
10	8/26 (月)	ワ シ ン ト ン D.C. ニ ュ ー ヨ ー ク	空路ニューヨーク経由にて帰国の途へ (機中泊)
11	8/27(火)	成 田	帰国手続終了後解散

上記日程は余儀なく変更されることがありますので予めご了承下さい。

お申し込み  
お問い合わせは 株式会社 **トウベルトピア** スペースキャンプ・デスク  
03-406-1191  
(運輸大臣登録一般旅行業第667号)  
〒150 東京都渋谷区神宮前6-2-6 原宿あかねビル 2F



1998年1月5日

# 宇宙へ

日本で初めて宇宙旅行を実現する

株式会社 **スペーストピア**



**SPACETOPIA INC.**

Dedicated to realising the new era of popular space travel.





■ごあいさつ■

宇宙へ行ってみたい!! という熱き声が増えてきます。

現在、宇宙産業は国家の管理から民間の会社に委託していく方向を明確にした、米国のNASAのリポートにみられるように世界的に転換期にさしかかっています。既存の宇宙産業には多くの人々、団体機関が保有する優秀な技術、ノウハウが蓄積されております。

私達はこのような方々、団体機関にご助言、ご指導いただき、日本及び、国際的パートナーと共に専門的知識、英知と想像力を使い、宇宙輸送機の設計、製造に関わり、宇宙輸送機の運航、運営をする目的で株式会社スペーストピアを再び設立いたしました。一般大衆のコンシューマーパワーによる新しい宇宙産業を実現したいと願っております。

宇宙へ飛び立てる日が目の前に近づいております。明るい、夢のある宇宙ビジネスにご参加、ご支援をよろしくお願い致します。



株式会社 **スペーストピア**

社長 若松 立行  
副社長 バトリック・コリンズ

■スペーストピアの海外アドバイザーの方々■

Thomas F Rogers	Space Transportation Association, President	John Spencer	Space Tourism Society, President
Gary Hudson	Rotary Rocket Company, Chief Executive Officer	Charles Carr	Polaris Design & Development, President
David Ashford	Bristol Spaceplanes, Managing Director	Rand Simberg	Interglobal Spacelines, Director
David Gump	Lunacorp, President	Hartmut Mueller	Space Tours GmbH, Director
Red Whittaker	Carnegie Mellon University Robotics Institute, Director	Steven Fawkes	Quest Energy, Managing Director
Peter Wainwright	Space Future, Webmaster	Fabian Eillingsfeld	Future Engineering GmbH, Director
Norman Fast	FB Partners Inc, Partner	Peter Diamandis	X Prize, Chairman
Sam Coniglio	Media Consultant	Erik Anderson	Pilot
Chuck Lauer	Pioneer Rocketplane, Business Development Manager	Bill Gaubatz	Universal Space Clipper Company, President

■スペーストピア会社概要■

社 名：株式会社スペーストピア (SPACETOPIA INC.)  
 所 在 地：〒105-0013東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3F  
 TEL.03-5404-7801 FAX.03-5404-7802  
 E-Mail : info@spacetopia.com  
 Home Page : www.spacetopia.com  
 社 長：若松 立行 (Rikko Wakamatsu)  
 副 社 長：バトリック・コリンズ (Patrick Collins)  
 創 業：1986年4月1日  
 設 立：1998年1月5日  
 資 本 金：2000万円

■スペーストピア倶楽部■

スペーストピア倶楽部は宇宙旅行の搭乗予約登録をした方々の倶楽部です。スペーストピアは海外の宇宙船製造メーカー3社、日本の設計中の観光丸などと緊密な情報交換、提携を交わし、もうすぐ実現する宇宙旅行へ着々と準備を進めております。

しかし、宇宙旅行が実現するまでには法律や保険、又は商用としてのテスト飛行に関する事など、解決されるべき課題が様々なのも事実です。私達は1986年4月1日に宇宙旅行を企画・募集した経験を踏まえ、旅行の日時や費用など、計画の詳細を迅速かつ、正確に皆様に伝えていきたいと考え現時点では発表は控えております。皆様と共に宇宙旅行のための開発や実験を見守り、時には情報開示の場として利用するためにこの倶楽部を発足いたしました。まずは、当倶楽部に予約登録されることで宇宙旅行に参画されることをおすすめいたします。会員になられますと他にも様々な特典が用意されております。

宇宙旅行のカウントダウンに向かって会員の方々と共に新しいスタイルのクラブライフを創っていきたく考えています。

入 会 資 格	スペーストピアの宇宙旅行の予約登録をした方
宇宙旅行搭乗予約登録料	100万円
年 会 費	36万円
特 典	宇宙旅行搭乗予約登録証明書、バッヂを配布。世界の宇宙施設、企業めぐり。宇宙服、宇宙船製造会社の訪問。技術者との交流。海外旅行の優先。スペーストピアの株主への優先権。
運 営	搭乗予約登録料及び年会費は会員の同意の上、運営されます。

■スペーストピアはこんな仕事をします■

1) 宇宙旅行の運航運営

a) オービタル飛行による宇宙観光旅行  
(軌道上飛行=地球を5周する)

- 「観光丸」宇宙船(日本ロケット協会研究中50人乗り宇宙船)を使用
- ロータリー・ロケット社(USA)製「ロトン2」宇宙船を使用
- プリストル・スペースプレーンズ社(英国)製「Spacecab」宇宙船を使用
- バイオニア・ロケットプレーン社(USA)製「Pathfinder」宇宙船を使用

b) サブ・オービタル飛行による宇宙観光旅行  
(高度100キロメートルまでの飛行)

- ロータリー・ロケット社(USA)製「ロトン」宇宙船を使用
- プリストル・スペースプレーンズ社(英国)製「Ascender」宇宙船を使用
- スペーストピアが運営設計する宇宙船をスポンサーシップによる使用。X PRIZE JAPANチームで設計試作中の宇宙飛行船を使用予定
- バイオニア・ロケットプレーン社(USA)製「Pathfinder」宇宙船を使用

c) 無重力体験飛行

- スペースアドベンチャーズ社によるロシア無重力体験旅行
- スペースツアーズ社(ドイツ)との提携による無重力体験飛行
- インターグローバル・スペースラインズ社(米国)との提携による無重力体験飛行
- スペーストピアが運営する日本国内での無重力体験飛行

4) 宇宙旅行に関する情報、教育

- a) スペーストピア・アカデミー  
今後の宇宙旅行に関する教育、訓練、研究、広報活動
- b) 宇宙ビジネスに関する出版、メディア事業  
●海外の宇宙情報翻訳サービス  
●宇宙ビジネスに関するコンサルタント  
●宇宙ビジネスに関するイベント、企画、運営

5) 宇宙ビジネスに関する製品企画開発

- a) 宇宙技術製品の輸入販売
- b) ライセンス、契約
- c) 宇宙食品の開発販売
- d) 宇宙葬・・・宇宙へ還るセレモニー
- e) 宇宙旅行グッズ (SPACETOPIA SHOPの展開)
- f) 宇宙ファッション(無重力での服装デザイン等)
- g) 宇宙ホテルでのインテリア・デザイン

6) X PRIZE JAPAN 事務局

7) 日本宇宙観光協会 設立準備事務局  
(JAPAN SPACE TOURISM ASSOCIATION)

8) 日本宇宙輸送株式会社 設立準備事務局  
(JAPAN SPACE TRANSPORT CORPORATION)

9) スペースポート(宇宙空港) 建設誘致事務局

10) 宇宙太陽発電 事業化計画事務局

11) 旅行業

「スペシャルツアー」東京都知事登録旅行業第3-4384号

- 男を磨く旅、女を磨く旅
- テーマを求めて7年間の旅
- 世界の著名人と会う旅
- 海外の人脈を創る旅
- 企業留学9日間の旅
- 世界の聖地巡礼の旅
- 日本 森の癒しの旅
- 日本 心の旅を行く

2) 海底宇宙旅行 (Deep Space)

タイタニック号沈没現場へ。  
潜水艇で海底3775mに眠る壮麗な姿と深海の神秘的な宇宙世界へお連れします。

3) スペーストピア基金  
(SPACETOPIA FUND)

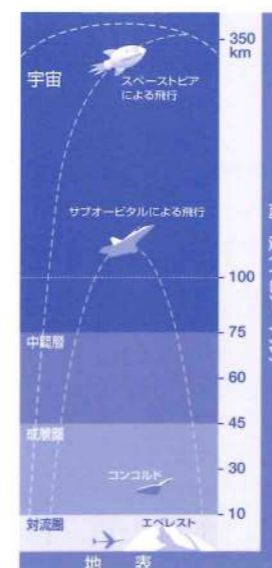
スポンサーシップ及び投資、寄付による宇宙船の製造、運営を行うために公正な機関によって管理、運営される資金

■サブ・オービタル(高度100km)宇宙遊覧飛行■

アセnder、2002年に打ち上げ予定

スペーストピアは軌道上で地球を周回するのが宇宙旅行と考えておりますが、その前に克服すべきあらゆる問題があるため、いち早く宇宙へ飛行できるのがこのサブ・オービタルフライトです。

40年前にイギリスで開発され、マッハ2で飛行したロケットプレーン (Sanders-Roe S.R53) の技術、設計を基にプリストル・スペースプレーンズ社が製造する「アセnder」は非常に現実的で安価な宇宙船です。スペーストピアはこの宇宙船を使用いたします。



日本もX PRIZE宇宙飛行コンテストに参加へ!!  
X PRIZE JAPAN チームを結成し、有人サブオービタル飛行を目指します。



●プリストル・スペースプレーンズ社「アセnder」100kmまでマッハ4で飛びます。



# ■スペースピアが使用する宇宙船■

■地球を5周します。

■地球ウォッチングが楽しめます。

■宇宙遊泳が7時間体験できます。

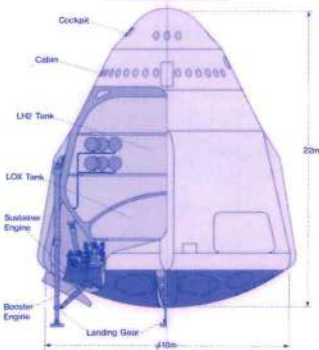
■宇宙食グルメが楽しめます。

## 観光丸《日本製》

★2010年打ち上げ予定



宇宙旅行船「観光丸」は、日本ロケット協会の運輸研究委員が概念設計した完全再使用型単段式ロケットです。50人乗りで離陸重量は550トンあります。低軌道上では、無重量浮遊や地球ウォッチングなどいろいろな宇宙体験を最大24時間飛行する。



## 有人ロトン宇宙船《米国製》

★2003年打ち上げ予定



ロータリーロケット社のハドソン社長は1985年、宇宙船フェニックス号プロジェクトの技術設計責任者であった。スペースピアの若松社長も1985年にこのプロジェクトに参加している。コリンズ副社長とも長い友人である。



## スペースキャブ宇宙船《英国製》

★2005年打ち上げ予定

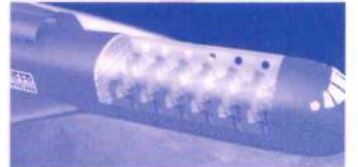


ブリストル・スペースプレーンズ社のアシュフォード社長は元ブリティッシュエアスペース社、最高技術責任者で経験豊富である。2段式水平離着陸機の宇宙船を設計した。コリンズ副社長とも長く共同研究している。



## パスファインダー宇宙船《米国製》

★2005年打ち上げ予定



パイオニア・ロケットプレーン社は米空軍で活躍したミッチェル・クラップ氏が創立し、新型ロケットプレーンを開発した。宇宙の不動産事業で有名なラワー氏も営業部長として参画している。



## ■スペースピア 宇宙旅行クラブ■

宇宙に興味ある方ならどなたでも入会ができ、スペースピアアカデミーへの出席、スペースピアショップの割引、会員登録バッジ、スペースピアニュースの発行、会員の方々に運営される委員会など将来の宇宙旅行に備えて、連帯感を持って体験的学習をするクラブです。

## ■スペースピア宇宙ビジネス研究会■

航空、空港設備、銀行、保険、証券、リース、ベンチャーキャピタル、運輸、宅急便、商社、燃料、法律、関係官庁などの方々を中心に、海外の宇宙ベンチャービジネス企業とも連携をとりながら宇宙船を打ち上げる為の諸問題の解決とビジネスを創り上げることを目的とする。

## ■海外の旅行代理店ネットワークシステム■

SPACE ADVENTURES社 日本総代理店

スペースピアは世界各国の旅行会社と提携し、宇宙旅行代理店としてネットワークシステムを構築しております。特にSPACE ADVENTURES社(米国)、SPACE TOURS社(独国)、WILD WINGS社(英国)とは、宇宙へ行くお客様へのサービスとしての諸問題(安全性、契約、保険、関係機関との連携、募集要項)について、広告、共同販売も含めて相互の総代理店契約を結び、情報交換、情報サービスの共有をしております。

## ■スペースピアが提携している公的機関■

- ◆SPACE TRANSPORTATION ASSOCIATION
- ◆SPACE FRONTIER FOUNDATION
- ◆X PRIZE FOUNDATION
- ◆PRO SPACE



## スペーストピアは 宇宙旅行の予約を受け付けています。

あなたも世界で初めての『宇宙への観光客』になってみませんか？

一軌道に沿って周りながら、蒼く輝く我々の星 “地球” を眺める—これほどエキサイティングでロマンチックな旅が今までにあったでしょうか。宇宙旅行はもはや「もしできたら…」という空想の世界を超え、「いつ頃行こうか…」と現実の計画を立てる段階に来ているのです。民間宇宙旅行はいよいよ2015年から始まり歴史的な年になるでしょう。

宇宙への旅——人類の永年の夢がとうとう実現されるのです。

フライトは8時間を予定しています。これは乗客の皆様が宇宙旅行を満喫するのに充分で、しかも厳しい肉体訓練を必要としない最適な時間なのです。宇宙船は地球の軌道に沿って進みながら、美しい宇宙の大パノラマを見せてくれます。このパノラマの美しさ、壮大さは過去の宇宙飛行士の誰もが「言葉に言い尽くせない」と賛美する素晴らしいスケール。自分の目前にその世界が広がった時の感動は想像を絶するものであることでしょう。

もちろん、宇宙船にはプロの宇宙飛行士や宇宙学者が乗り込みます。乗客の皆様には彼らの宇宙実験を実際に手伝っていただきます。人類最初の宇宙飛行士と同様のスリルと興奮が味わえることは間違いありません。

参加者には出発直前に、スペースセンターでの3日間のオリエンテーションに参加して、簡単なトレーニングと説明を受けていただきます。宇宙旅行をより有意義なものにするための専門家によるセミナーも行われます。

### スペーストピア 宇宙旅行 募集要項

- 〔Ⅰ〕 宇宙旅行費用 **¥28,550,000**
- |                       |             |                  |
|-----------------------|-------------|------------------|
| ①宇宙船運行費               | ¥27,500,000 | (US\$250,000.00) |
| ②宿泊、食事、パーティー費         | ¥300,000    | (US\$3,000.00)   |
| ③登録、トレーニング、資料、宇宙服一式   | ¥200,000    | (US\$2,000.00)   |
| ④成田/ロサンジェルス(往復)航空券    | ¥500,000    | [ビジネスクラス]        |
| ⑤ロサンジェルス/スペースセンター間交通費 | ¥50,000     |                  |
- 〔Ⅱ〕 旅行期間 **2015年 10月 01日 ~ 08日 (8日間)**  
全9回のフライト予定です。
- 〔Ⅲ〕 予約手数料及び  
申込金の支払い 予約申込書に氏名、住所、電話番号、生年月日、職業、身長、体重、及び希望の離陸日を記入して頂きます。  
1週間以内に申込金500万円をお振込下さい。
- 〔Ⅳ〕 予約確認書送付 予約を申込して頂きますと4週間後に以下の書類をご送付致します。  
①予約確認書 ②出発準備のための案内書 ③スペーストピアの会報
- 〔Ⅴ〕 費用に含まれるもの \*宇宙飛行代金(乗務員のほかに最低2名のスタッフが皆様の安全の  
為にお世話を致します。)  
\*オリエンテーション参加費用(ホテル代、食費を含む)  
\*オリエンテーション会場から打ち上げ台までの送迎  
\*宇宙服一式の貸し出し費用  
\*日本から離陸地(アメリカ・カリフォルニア州を予定)までの旅費
- 〔Ⅵ〕 健康診断書提出 離陸日より1年前までに健康診断書を提出していただきます。

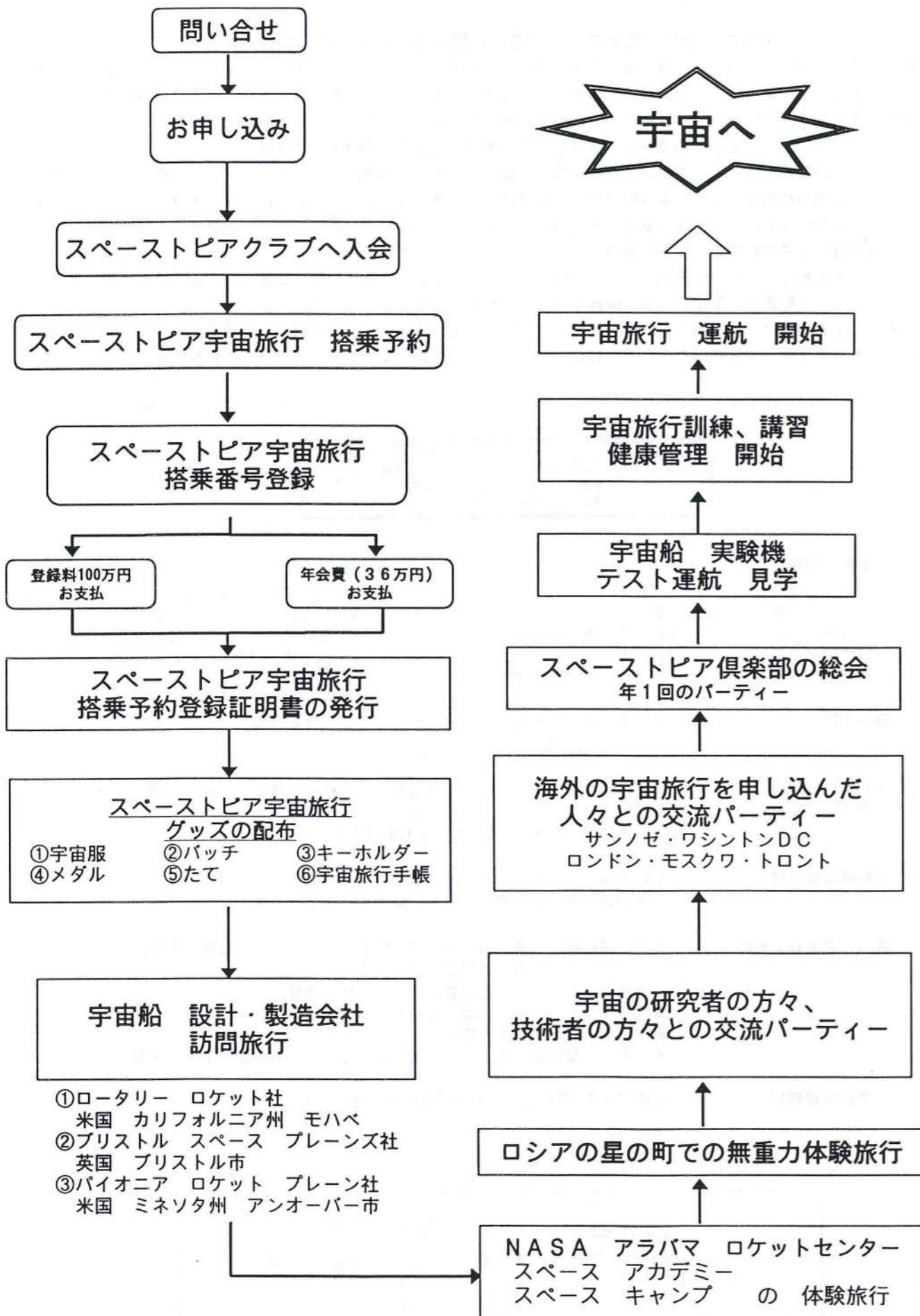
お申し込み・お問合せは

株式会社 **スペーストピア**

〒105-0013 東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3階  
電話: 03-5404-7801 ファックス: 03-5404-7802  
e-mail: info@spacetopia.com



# スペーストピアの宇宙旅行



# 宇宙への旅

DAY 1	成田 発 航空機 ロサンジェルス 着 モハベ 着	DAY 2	スペーストピアの専門スタッフと米国技術アドバイザーによる初エンターテインメント、トレーニングを3日間行います。
	モハベ・スペースポート到着 スペーストピア・サロンにて歓迎パーティー モハベ・スペースセンターにて、翌日から3日間のトレーニングに備えてゆっくりくつろいで下さい。		エアロピクス 宇宙体操トレーニング オーディオ・ビデオ機材を使って宇宙船の説明 バーチャル・リアリティによるシミュレーション体験 宇宙についての講義 a) 宇宙法 b) 無重力 夜は、スペーストピア・サロンにてパーティー

DAY 3	第2回バーチャルリアリティによるシミュレーション体験 第2回宇宙エアロピクス体操トレーニング 宇宙についての講義 a) 宇宙医学 b) 宇宙写真の撮り方 宇宙食の試食会	DAY 4	第3回バーチャルリアリティによるシミュレーション体験 第3回宇宙エアロピクス体操トレーニング 宇宙についての講義 a) 宇宙実験の説明 b) 地球との通信方法の説明 宇宙服の試着
-------	--	-------	---

DAY 5	<b>Flight Scenario</b>	
	7 a.m.	発射台到着 “ジェットウェイ” を通ってキャビン内へ予め決められている自分の席につく。 (全ての席の前にはやがて宇宙の大パノラマが広がるはずのウィンドウがあります)
DAY 6	8 a.m.	発射 発射の瞬間を外から写した映像、及び操縦室の様子をビデオで見ることが出来ます。 エンジン出力最大。 エンジン音と体感重力が増加。 大気圏外脱出。 エンジン音が減少し、200キロメートルの軌道に沿っての運航開始。 目の前に地球の大パノラマが広がります。操縦室の飛行士達の様子もビデオに映し出されます。 無重力状態に突入→船内の重力を調整。 船内での飲食などについての実習。 船内で行われる実験の説明。 宇宙の大パノラマの写真撮影、地球との通信、宇宙実験への参加等、次から次へとプログラムが進みます。 大気圏突入30分前。 地球への帰還準備。 5分間3Gが続きます。 大気圏突入! 近づいてくる地球を見ながら着陸態勢に入ります。 着陸。

DAY 6	スペーストピア スタッフがフライトについての質問などにお答えします。 スペースセンターの各種の設備で、フライトの疲れと興奮を静めてください。 ご家族の方も一緒に過ごして頂けます。 スペーストピア・サロンにてさよなら大パーティー
-------	--

DAY 7	モハベ 発 バス ロサンジェルス 着 ロサンジェルス 発 航空機 (機中泊)	DAY 8	成田 着 通関手続の後、報道関係の記者会見
-------	---	-------	--------------------------

## 宇宙船内でのプログラム

地球との通信

宇宙実験への参加

無重力での体験

無重力生活の楽しさを体験する  
活動 : 飲むこと、食べること、家具/椅子、ベッド、道具を使うこと、水を片付けること、本/雑誌/新聞、ヘッドライナー、おもちゃ: 飛ぶもの、独楽、水、鳥体育、ボールゲーム、レース、ドラマ(テレビ会社)  
服を脱ぐ/着ること、手/顔を洗うこと、歯を磨くこと



# スペースピア クラブ

宇宙へのステップ活動

1. 情報・知識を身に付ける
2. 体を鍛える
3. 宇宙に関する体験・施設の視察研修旅行
  - a) ベースシャトル打ち上げ見学ツアー
  - b) 宇宙通信衛星の打ち上げ見学ツアー
  - c) 宇宙船の実験機のテスト飛行見学ツアー
  - d) アメリカ宇宙施設・博物館・研究所を訪ねるツアー  
ケネディー宇宙センター、ジョンソン宇宙センター、JPL研究所、アラバマ ロケットセンター、ゴダード飛行センター、スミソニアン博物館
  - e) マヤ文明、インカ文明…古代の人々の天文学を極めるツアー
  - f) ハワイ島マウナレア天文台を訪ねるツアー
  - g) アリゾナ砂漠巨大クレーター（バリンガー流星クレーター）を訪ねるツアー
  - h) プエルトリコのアレシボ天文台を訪ねるツアー
  - i) スカイ ウォッチャーズ イン 岩手県一戸町天文台へ3日間の旅
  - j) 宇宙旅行研究合宿3日間
  - k) ロシアン スペース ツアー  
過去に極秘であった宇宙基地、訓練センター、宇宙開発の最新技術を見学する
4. 海外の宇宙旅行予約者の方々との交流
5. 無重力体験飛行

将来必ず  
宇宙旅行をする  
お客様

入会  
申込

会員証  
バッチ

宇宙旅行クラブ

宇宙旅行に関する体験的活動

## スポンサーシップ による基金運営

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. ○○会社  | 21. |
| 2. △△会社  | 22. |
| 3. □□会社  | 23. |
| 4. ◎◎会社  | 24. |
| 5. ▽▽会社  | 25. |
| 6. ◇◇会社  | 26. |
| 7. ○△会社  | 27. |
| 8. ○□会社  | 28. |
| 9. △□会社  | 29. |
| 10. □○会社 | 30. |
| 11.      | 31. |
| 12.      | 32. |
| 13.      | 33. |
| 14.      | 34. |
| 15.      | 35. |
| 16.      | 36. |
| 17.      | 37. |
| 18.      | 38. |
| 19.      | 39. |
| 20.      | 40. |
- (1社50億円 x 40社)

## 日本宇宙輸送協会

- ①日本宇宙船メカニック協会
- ②日本宇宙パイロット協会
- ③日本宇宙交通管制協会
- ④日本宇宙空港公団

お客様

旅行代理店

- ・特製バッチ
- ・宇宙船の模型
- ・搭乗登録盾
- ・宇宙服 など  
進呈

搭乗  
予約登録  
証明書発行

支援

スペースピア基金  
2000億円

スペースピア  
宇宙船 運航・運営

支払

宇宙船の  
設計・製造 依頼

納入

宇宙船  
設計・製造会社

宇宙船 完成

日本宇宙輸送株式会社  
(JAPAN SPACE LINES)

宇宙船  
安全推進委員会

医学的チェック

宇宙船実験機  
テスト飛行

宇宙へ出発

- ①ロータリー ロケット社
- ②ブリストル スペース プレーンズ社
- ③パイオニア ロケット システム社
- ④スペース クリッパー  
インターナショナル社
- ⑤観光丸 日本連合 製造会社

宇宙から帰還